「この人は宝石だ」
特別読み切り
不朽のフェーネチカ
ザザ
ザザ
ハァ
ハァ
おい待て!
止まれ!
死ぬ気か!?
いや!!離して!!
サーシャ!
幸村誠激賞の新鋭・竹良実、
アフタヌーン初参戦!
サーシャああああ

神にも言えぬ、私の野望。

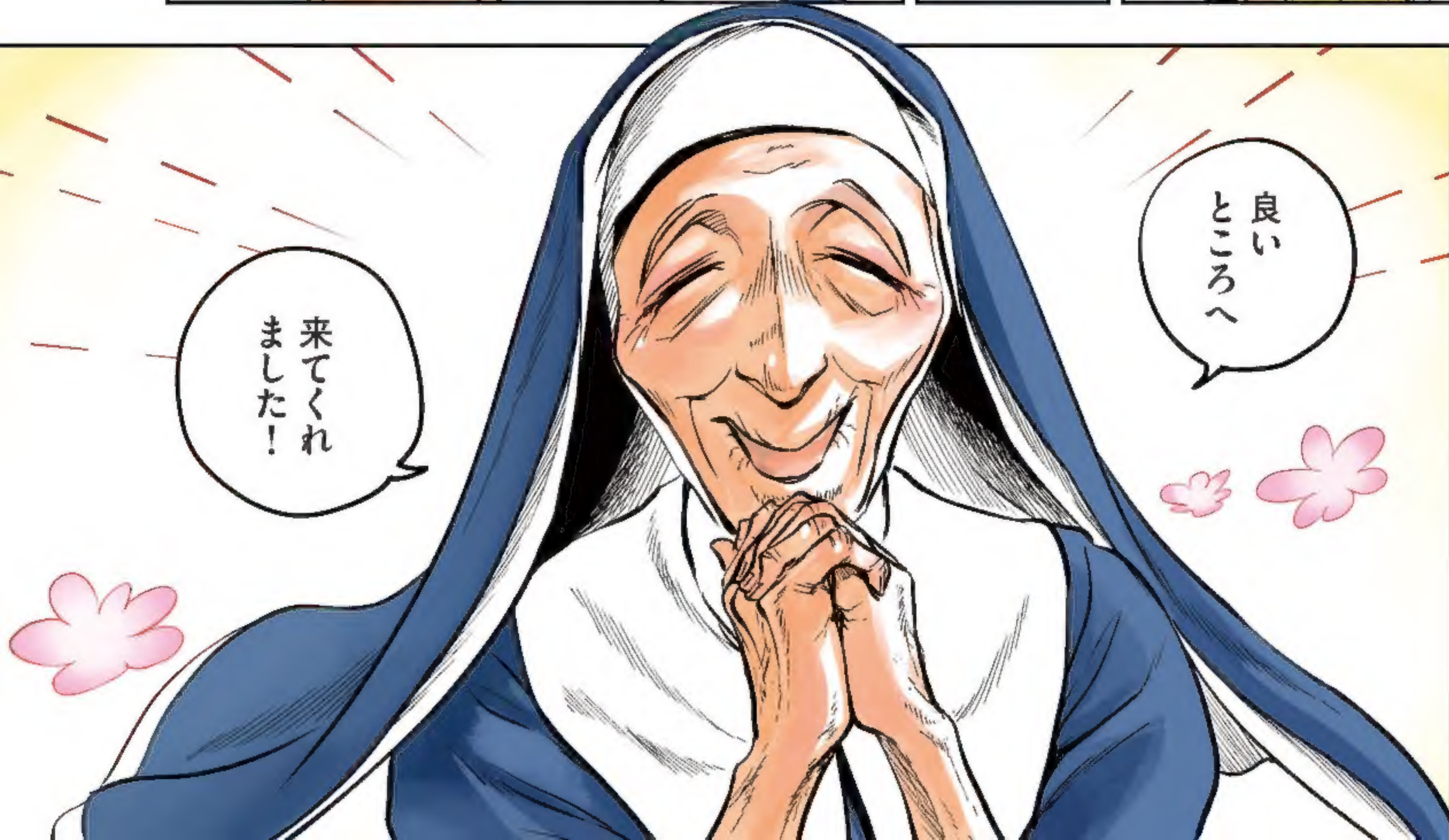
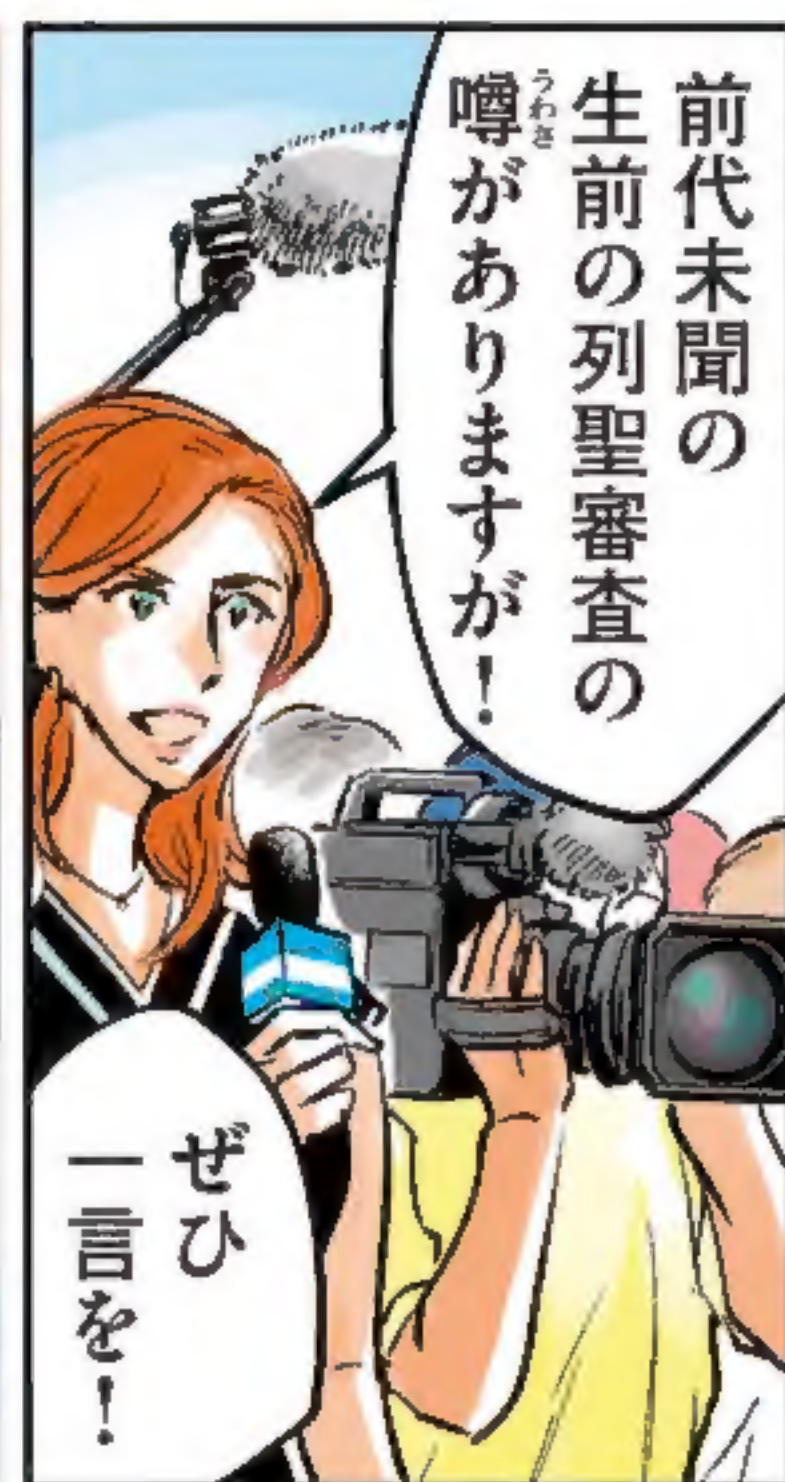
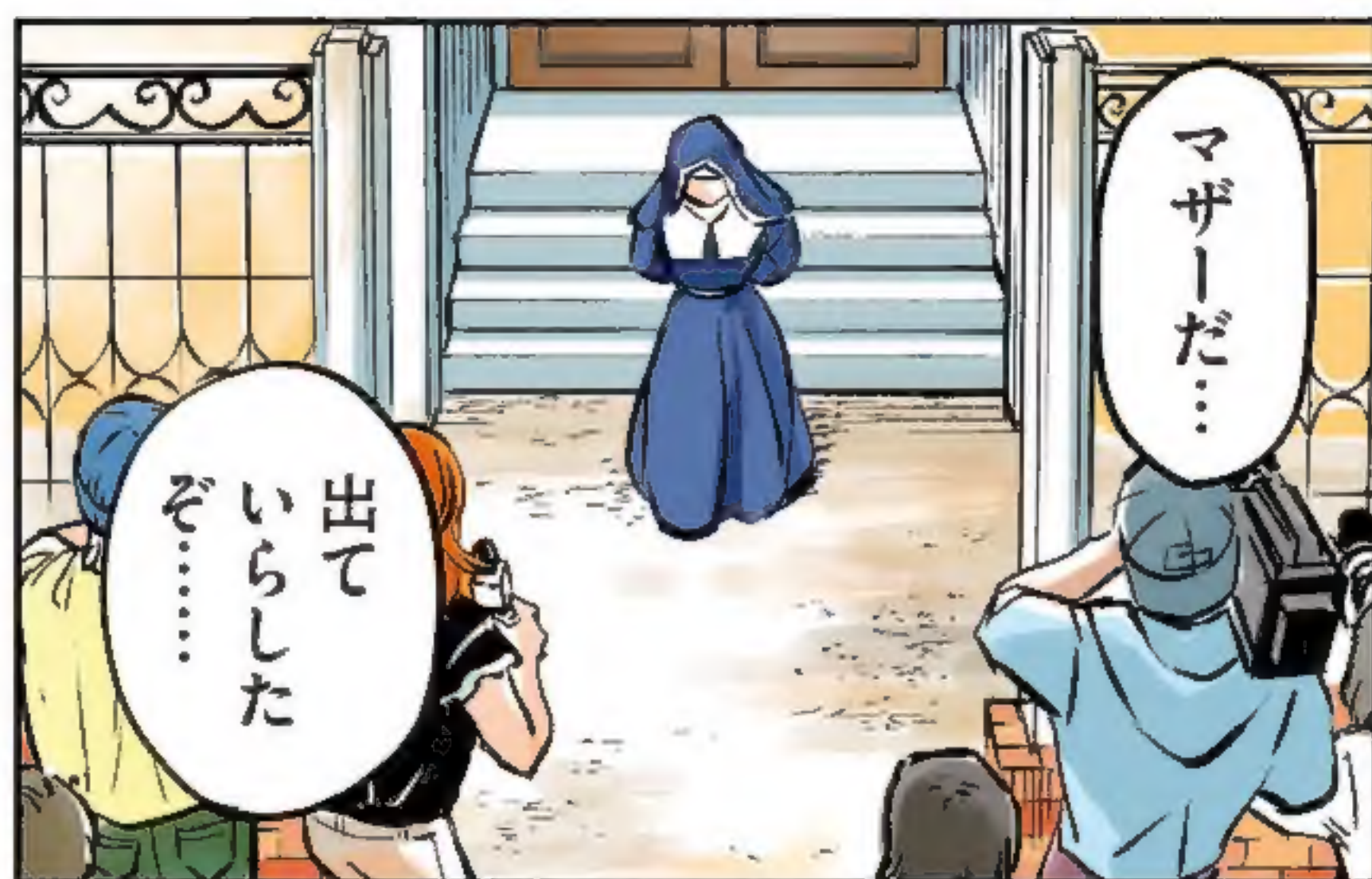
彼女は世界を欺き、神に仕える――たった一つの望みのために。

『辺獄のシュヴェスタ』の竹良実が放つ

不朽のフェーネチカ

特濃読み切り
85ページ
一挙掲載

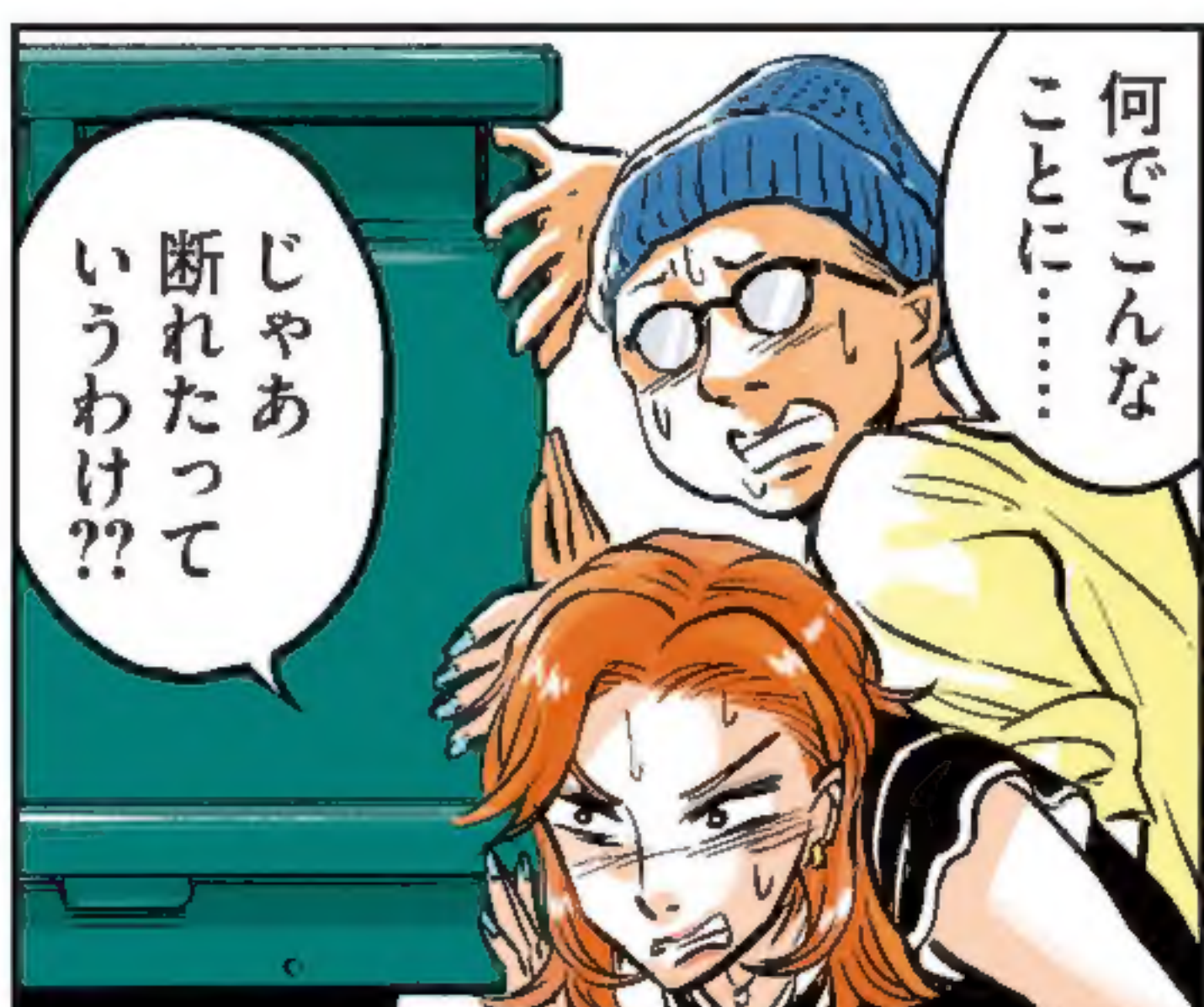
竹良実
Minoru Takeyoshi

マザー・ドロテア！
前代未聞の生前の列聖審査の噂がありますが！
ぜひ一言を！
ギイ…
マザーだ…
出ていらしたぞ……
皆さん……
良いところへ
来てくれました！

◆作者紹介◆

竹良実（たけよしみのる）

2013年『地の底の天上』で第265回スピリッツ賞よりデビュー。初連載作品『辺獄のシュヴェスタ』（小学館『月刊！スピリッツ』連載）が昨年完結。一六世紀ドイツの修道院を舞台に、不屈の精神で戦い抜く少女達を描いた本作は、各所で絶賛された。

※この作品はフィクションです。実在の人物・団体・名称等とは一切関係ありません。

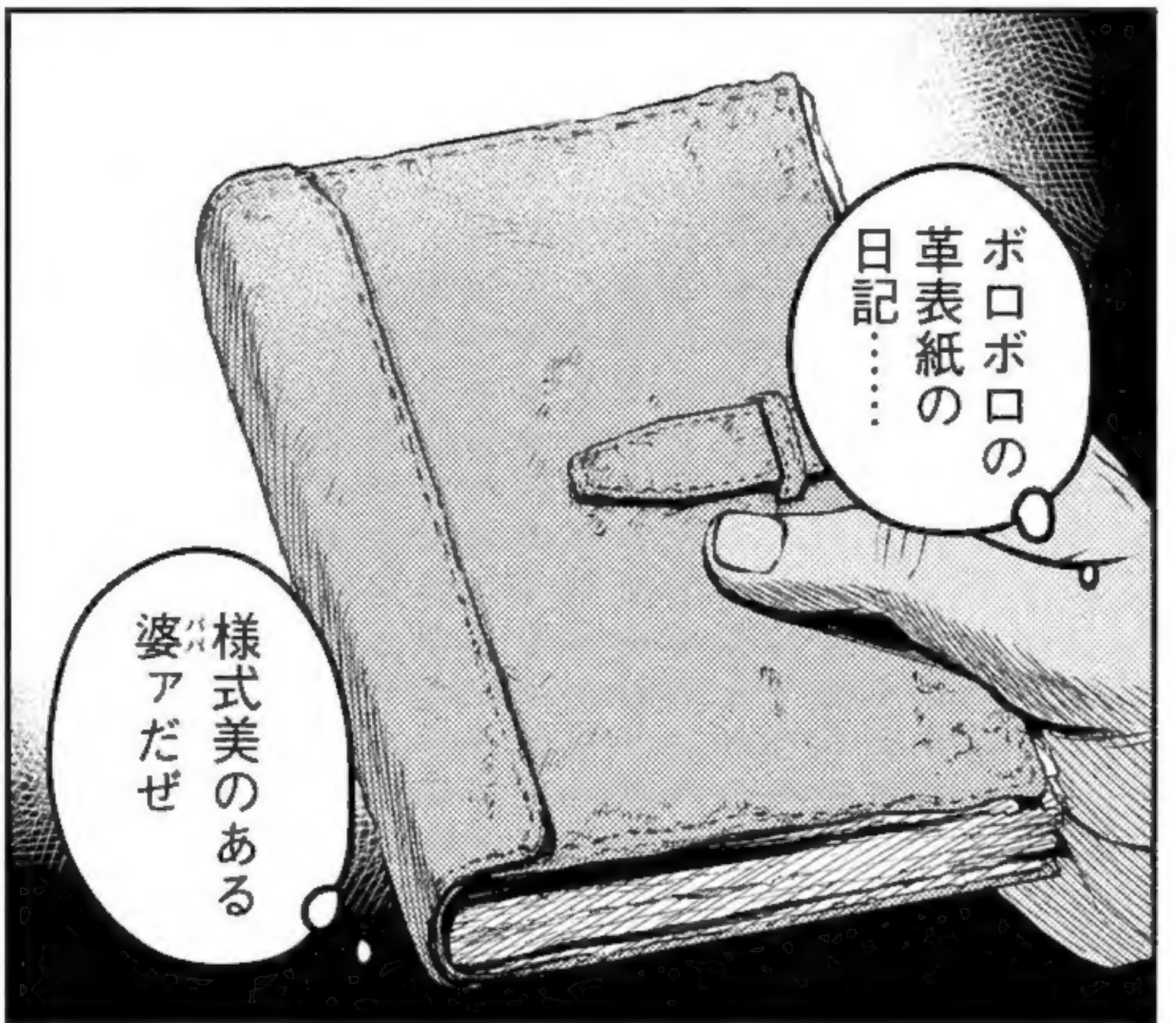
聖人は病気の治癒等の奇跡を起こし

その聖なる遺体は死後も朽ちることがないという

この現代社会最後の神秘――

そしてあの婆さんはこう言われてる

「この後 自殺か人殺しでもしない限り

列聖は間違いない――」

だが
本当に
そうかな？
チョコレートの箱に
チョコレートが入ってるほど
人間は単純なもの
じゃないだろ？

ボロボロの
革表紙の
日記……
様式美のある
婆ァだぜ

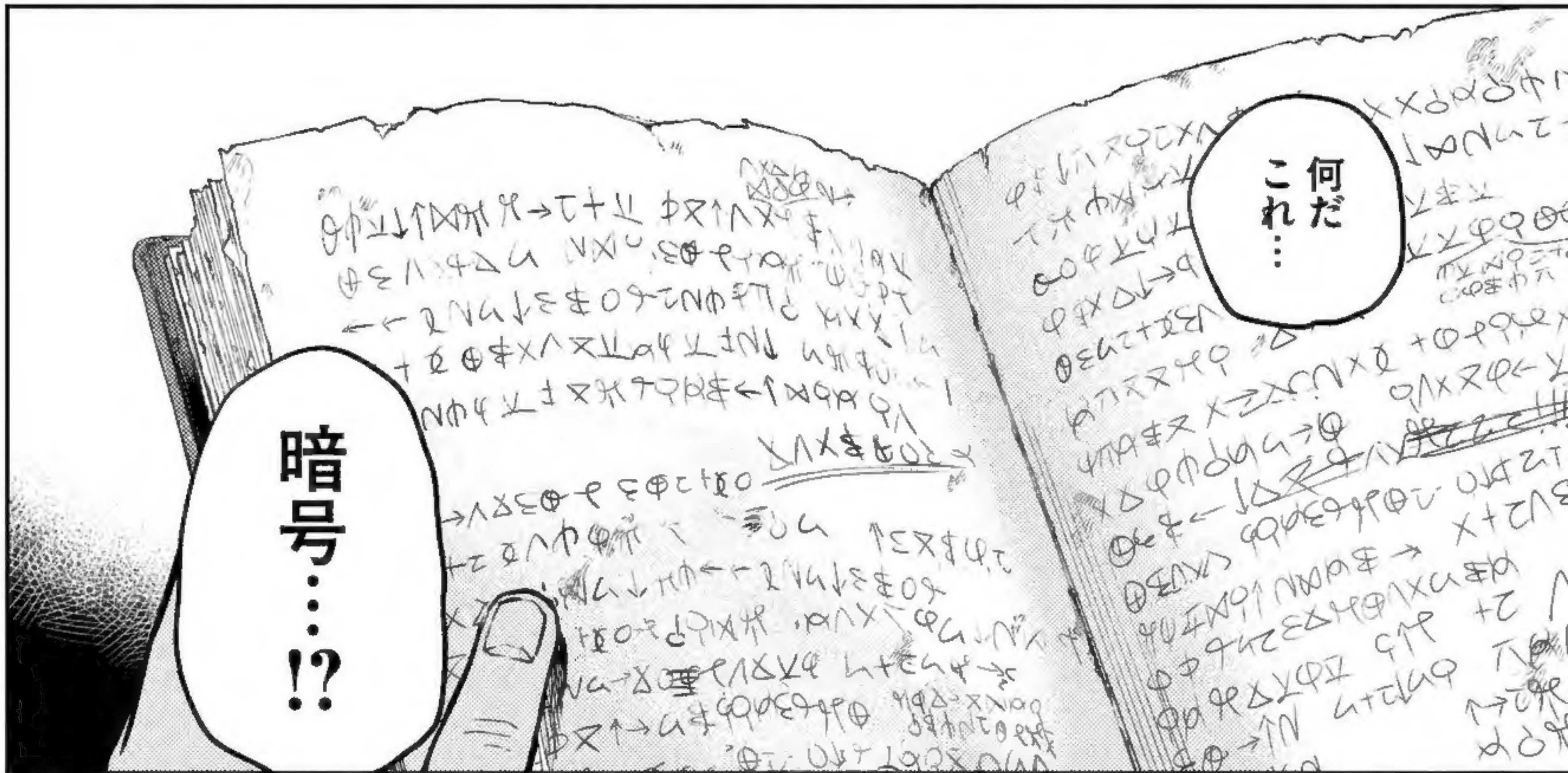
マザー
さっきの方は
どちらへ？
孤児院を見ると
言ってましたが
見当たらなくて…

ああ
大丈夫
だよ

きっと
いろいろ見て
回りたいんだろう
な…
何だ
これ…
暗号…!?
あの婆ァ
帰り際にも
抱きついて
きやがって…
パパー
プァ
ブロロロ…

こいつは面白い記事になるぜ…！

証言1 麻薬王

…あんたか

15年前のことを聞きたいそうだな

サイズ感おかしくねーか…

…まあいい

暇つぶしだ話してやる

ロドリゴ！今から交渉役がそちらへ行く！

市長は何をやってるんだ

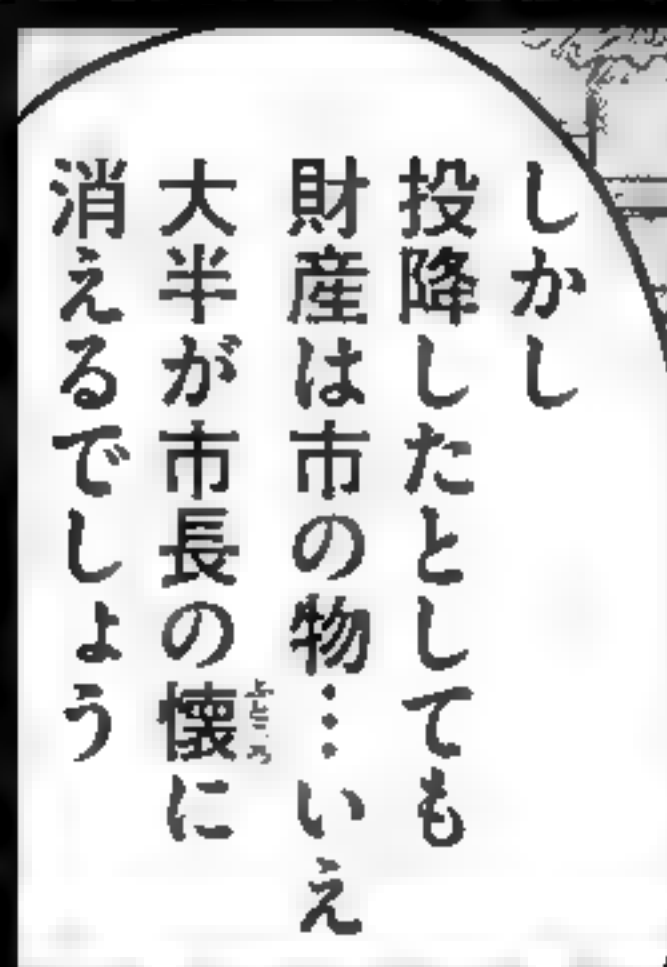
当選させてやった恩を忘れやがって

ごめんくださいな

撃たないでおくれよ

何が交渉役だ！

婆ァの出る幕じゃ…

パ
はじめに言います
私の望みは聖人になること
パッ
脅しは結構
ビジネスの話をしましょう
殉教は大歓迎です
…いいだろう
このままでは特殊部隊が突入しあなたは殺される
しかし投降したとしても財産は市の物…いえ大半が市長の懐に消えるでしょう
……
ですがいい方法があります
今ここであなたの全財産を
私達の「人々の家」に寄付なさい
は？

これであんたは私に預けた金を必要に応じて引き出せる
知っての通り金さえあればこの国の刑務所は高級ホテルさ
何という奇跡……！
30分足らずの説得であの麻薬王を改心させるとは……
まるで使徒パウロの回心だ！
それで俺は投降した…
だが…
POLICIA

作者近況　竹良実

銭湯巡りには良い季節になって来ました。新規開拓していきたい気持ちと、行きつけの銭湯を応援しなければという気持ちがあり、迷うところです。

証言2 記者
すごいですね
この辺りの海岸はいつもこうなんですか？

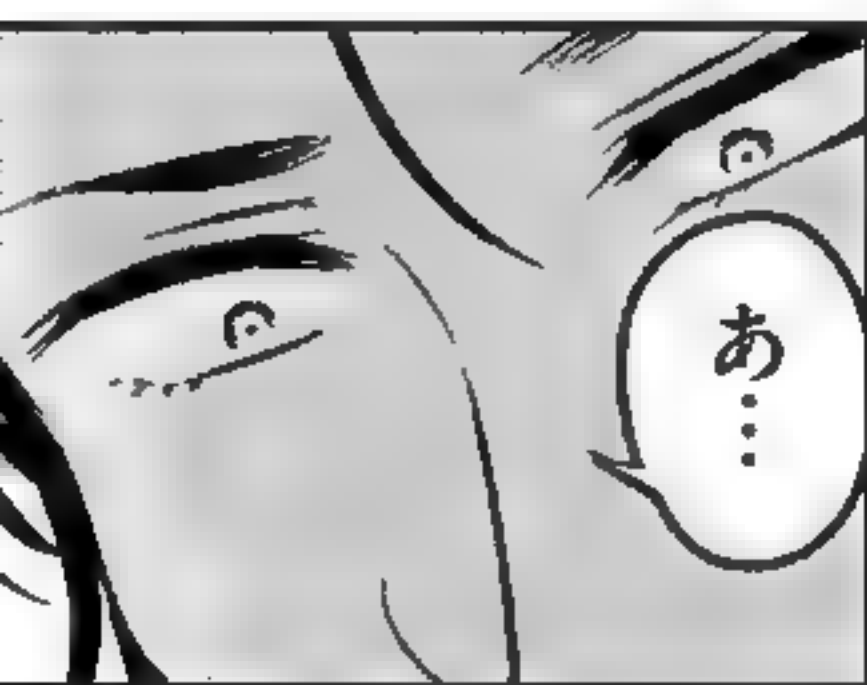
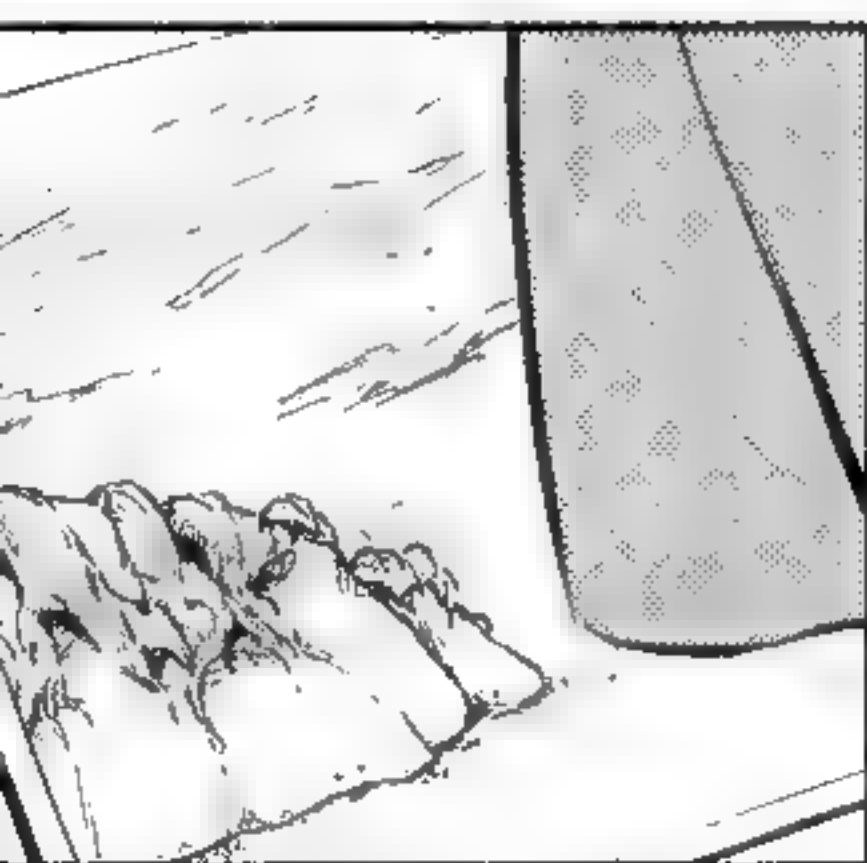
14

ええ 下水の整備が悪いので湾が富栄養化してるんですよ
それにしても…

嬉しいです こうして若い方にマザーの功績を伝えられるなんて

いえいえこちらこそ！

30年以上も前… 私達の新聞社は当時の独裁政権に嫌われましてね
当局を恐れて誰も紙を売ってくれなくなった

そこへ現れたのがマザーだったんです

ゴワゴワしてるな
社長！
古い活版印刷機がありますよ
部数は減りますがあれを使えば刷れます！
しかし……古紙の取引ですら監視されている中
どこから原料を…？
それは秘密に
こちらにも危険な取引ですから

もしかして
これじゃないですか……?

悪いが…上からの命令だ

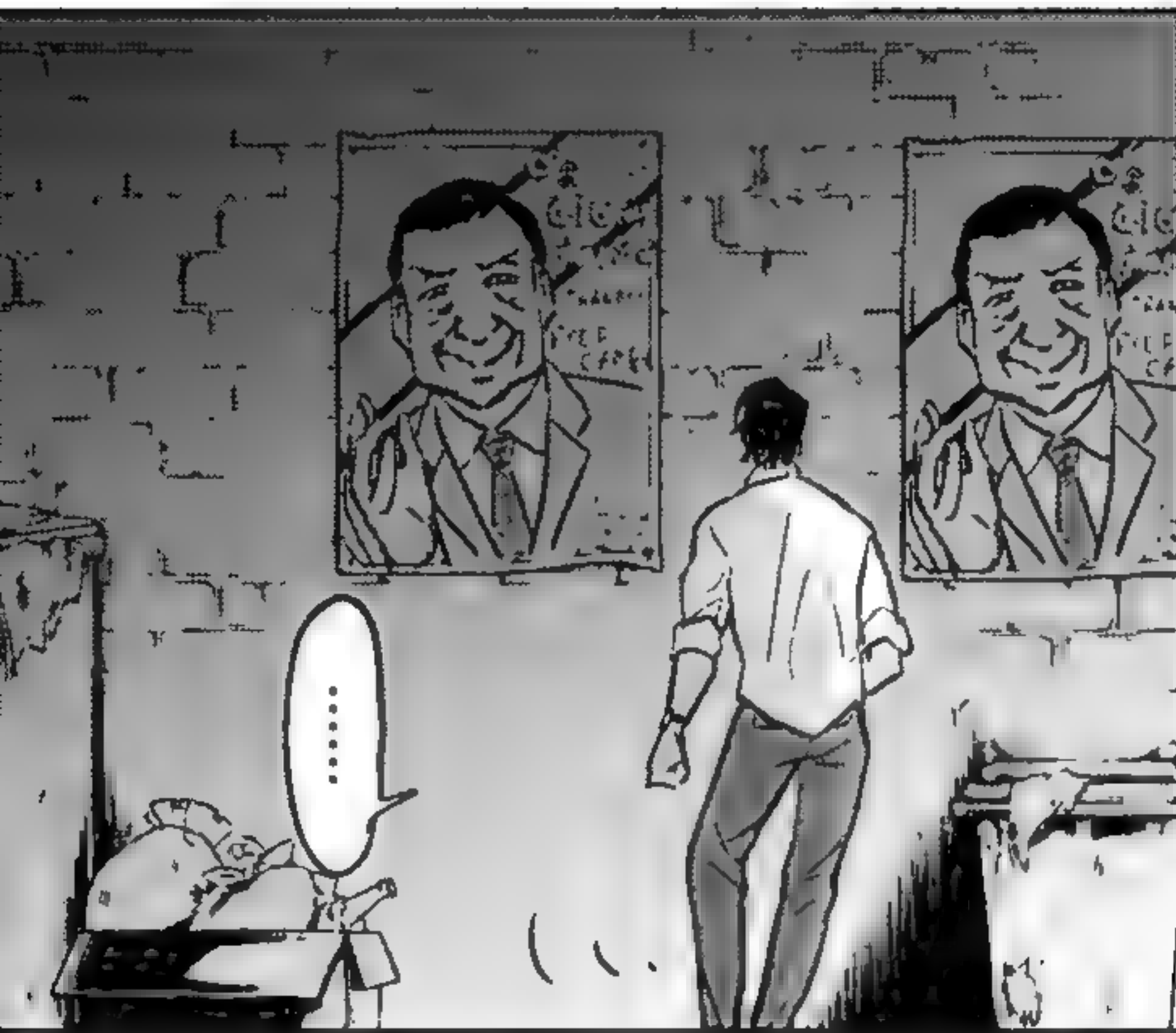
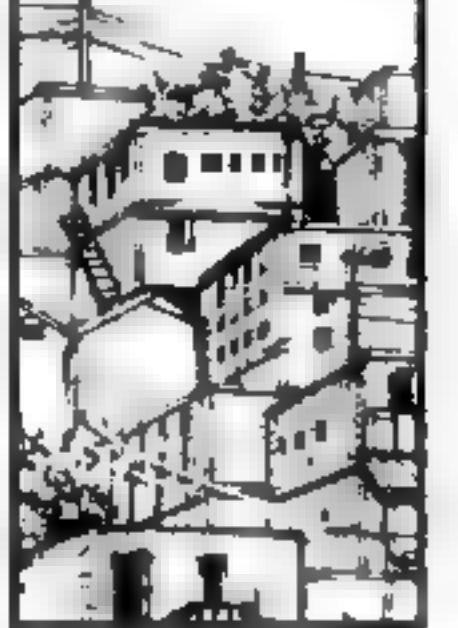
この記事は載せられん
相手は大物議員だ…分が悪すぎる

しかし編集長…!

ビクッ
…クソ
つまんねー事思い出しちまった

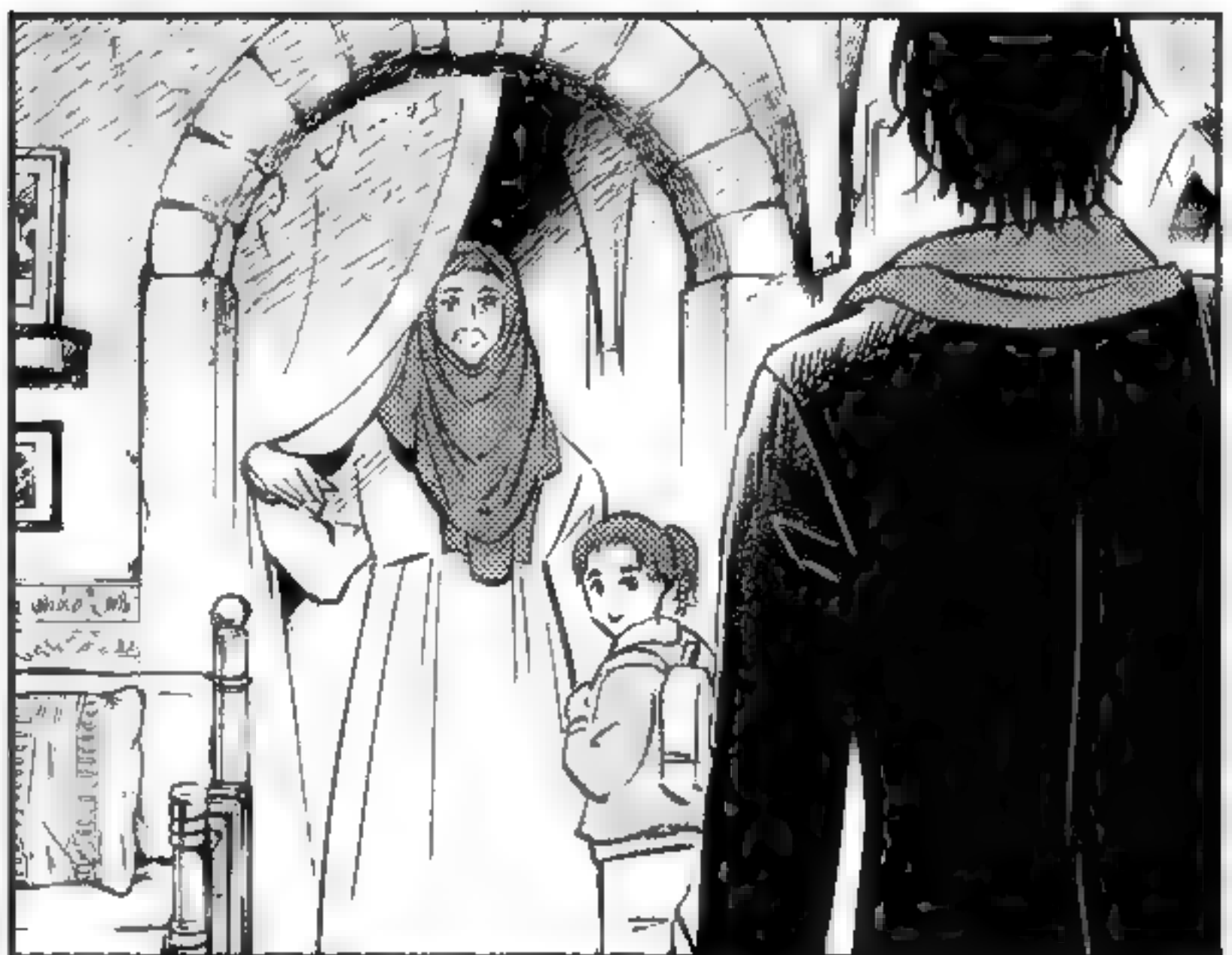
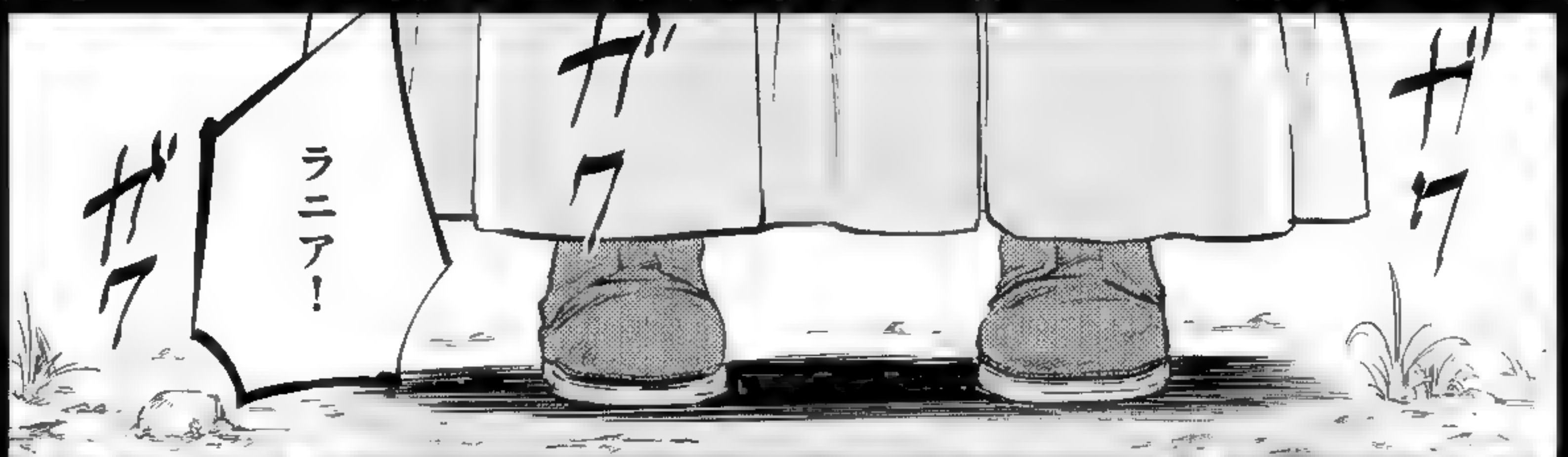
……

はーザマー見ろ!!
おい

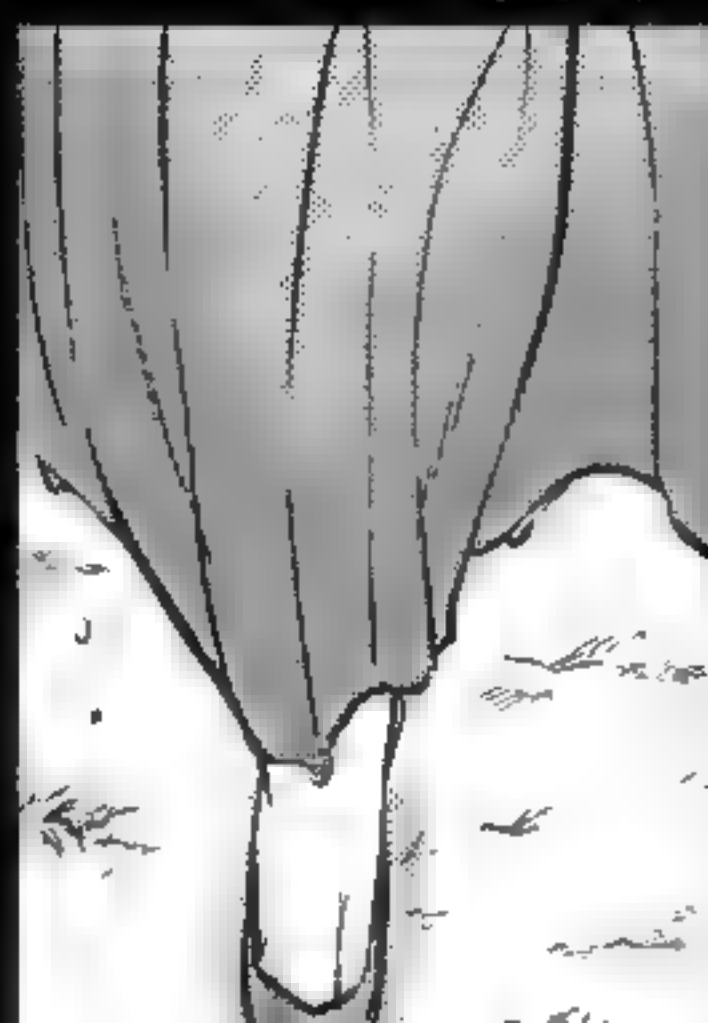
ちょっとあんたが羨ましいよ…

カタ
解読がうまく行かないんだ
カタ
3つの言語で試してるんだが
もう少し時間をくれ
ああ

ところで…ひどい顔だな
その割に楽しそうじゃないか え？

ほっといてくれ
進展あったら知らせろよ
しばらく飛び回ることになりそうだ

どうしたんだ
ザワ
あの男の妹だ
ザワ
ラニア!!
兄に追われて逃げまどってる内に……

地雷地帯に踏み込んだんだ…
クソ…も戻ってこい!
いやだめだ
動くなよ!!
何よ今さら…
うっ…
うっ…
戻れば私を殺すくせに…
お前が一家の名誉を汚したからだ!
知ってるんだぞお前があの男と……
ああクソっ!
この話は後だ
とにかく戻ってこい…
来た時と同じ所を踏んで戻るんだ
そんなの
できたらもうやってるわよ……!!
あの子ふらついてる
まずいぞ
ちょっと失礼

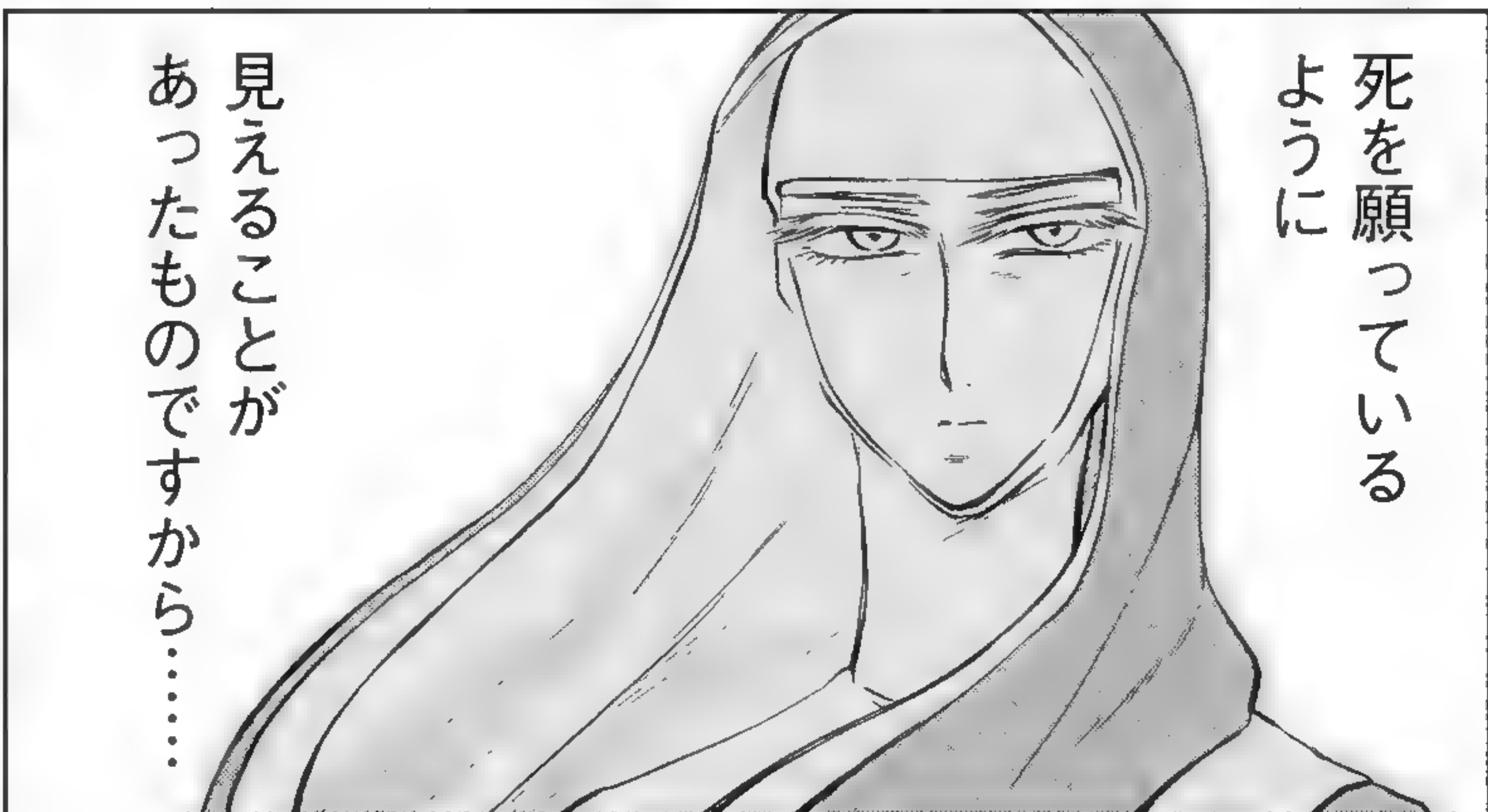
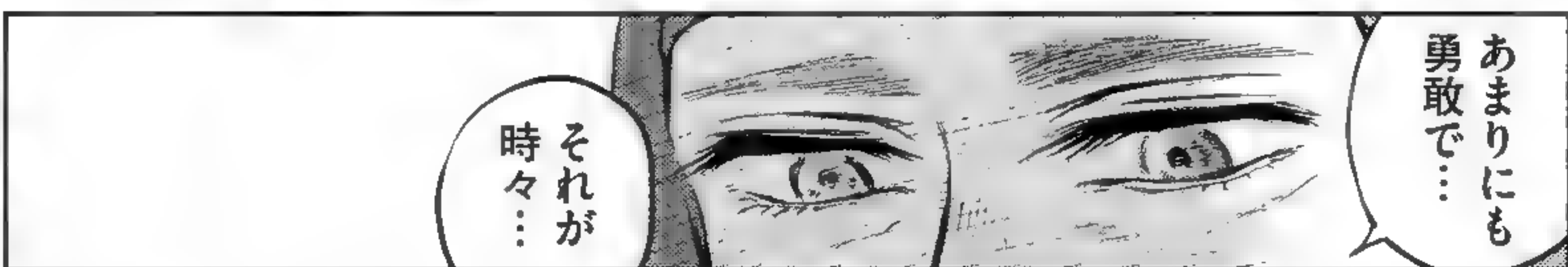
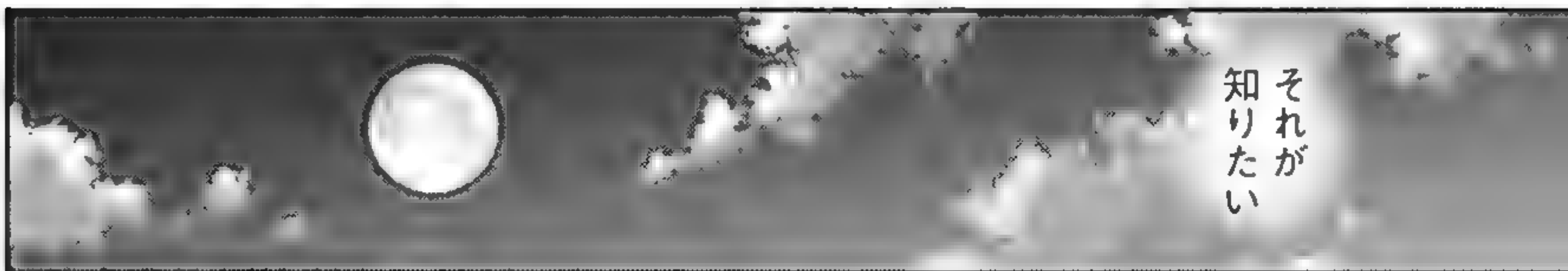
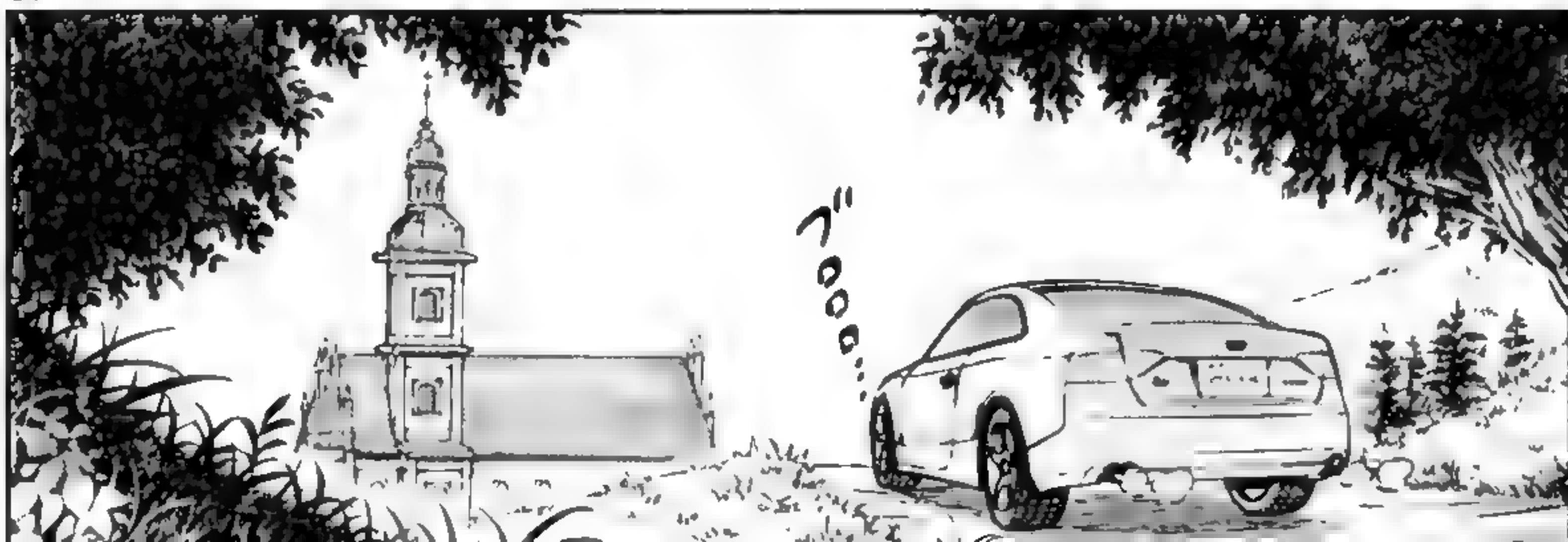
ザワ
ザワ
何だ
キリスト教地区の尼僧だ
何しにここへ…
水を貸してください
ゴッ
これで足跡が残る
私がそちらへ行きます

この次の一歩…
私が地雷を踏めばあなたも巻き込まれる
私が行くかあなたが来るか
確率は同じでしょう
お選びなさい
…選ぶ？
私が…？
……
私が行くわ
ああ…

よく選んだわ
忘れないで
あなたの人生を運ぶのは
いつでもあなたの一歩よ
私は家を出て 何年かシスターの活動を手伝ったあと
結婚して今に至ります

でも…
良かった
シスター・ドロテアは
お元気なんですね
…何か
心配事でも？
いえ
ただ

私達ずいぶん
危険な目にも
遭いました
でもシスターは
ナイフや銃を
向けられても少しも
怯むことがなかった

あまりにも
勇敢で…
それが
時々…

死を願っている
ように
見えることが
あったものですから……

マザーには修道女になるまでの記録がない

まあ
マザーのお友達…？

マザーは1986年からここで修行して修道女になりました
ここにはもう彼女を直接知る人はいませんが　とても勤勉だったと聞いていています

これが当時のマザー・ドロテアです

思いのほか…やるな婆さん……
これは…

ああ…そうだ帰りに彼女の故郷を見たいんですが
どちらでしたっけ？

お帰りください

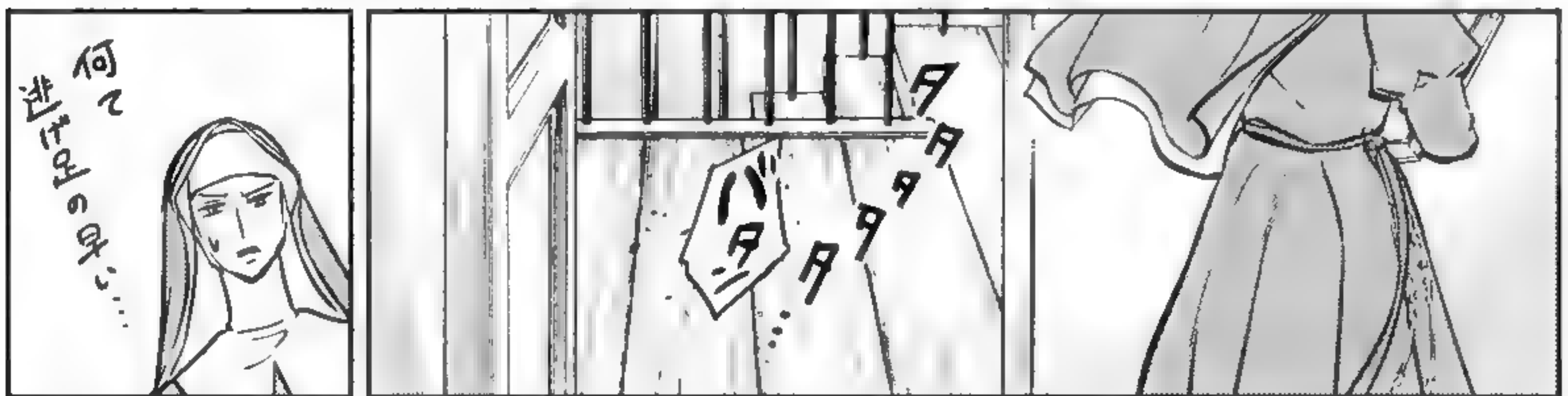
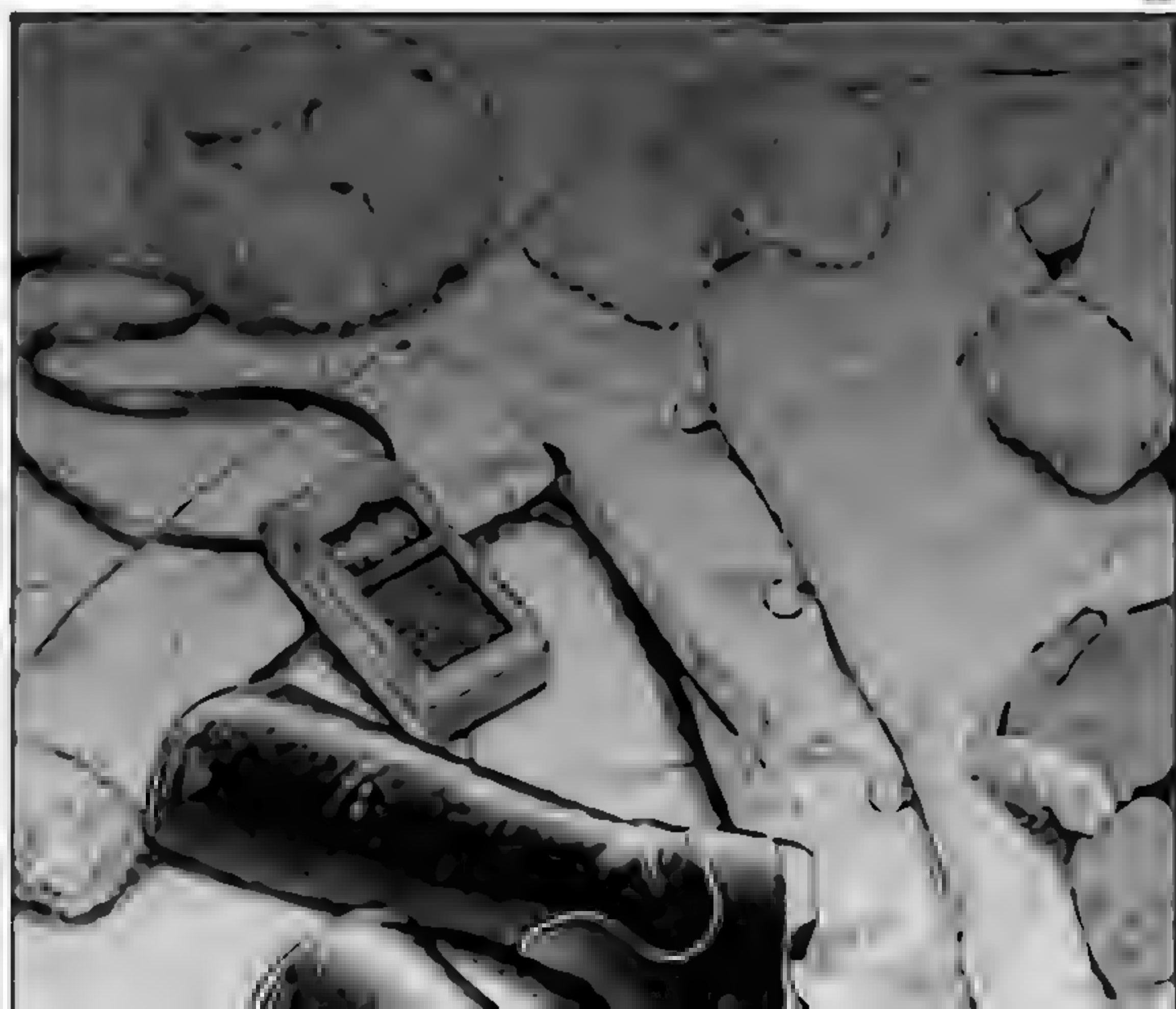
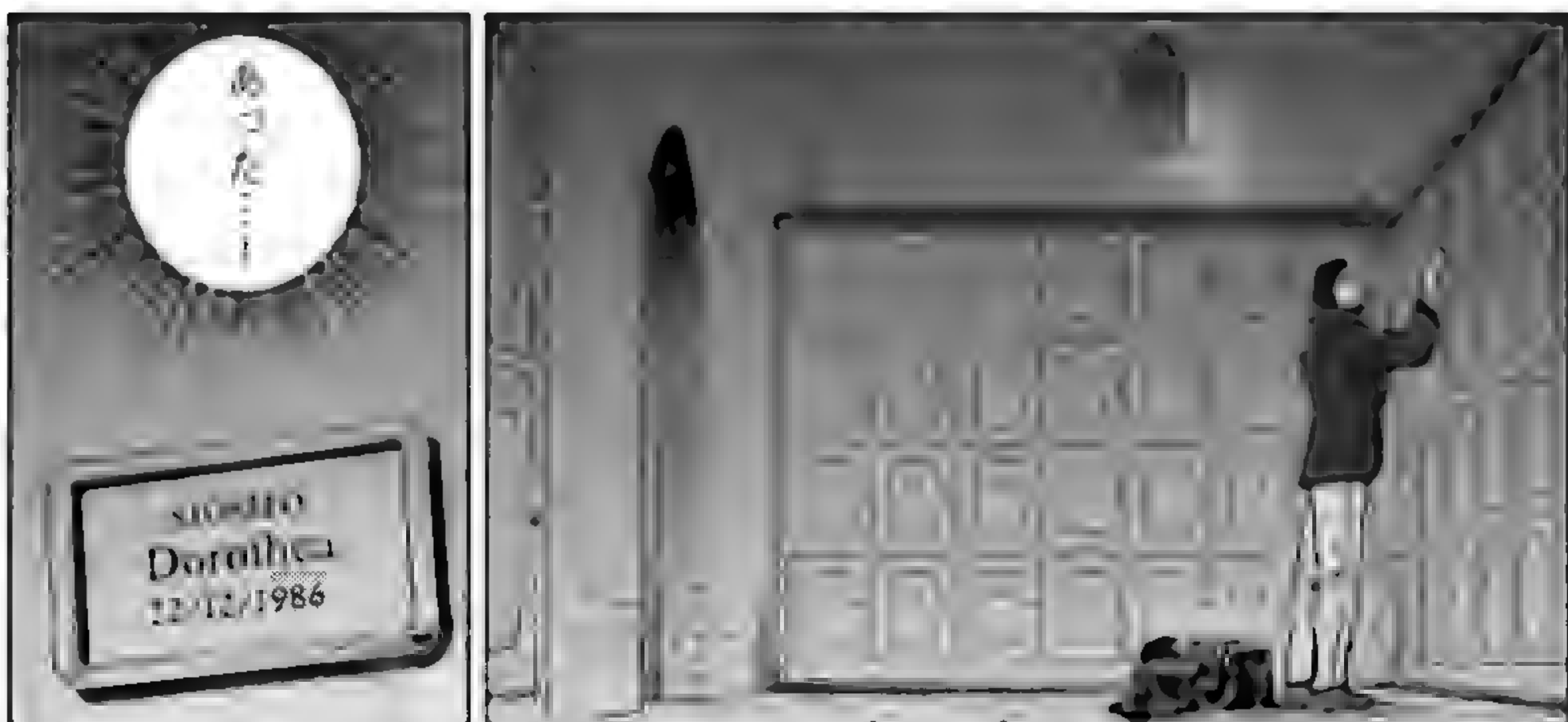
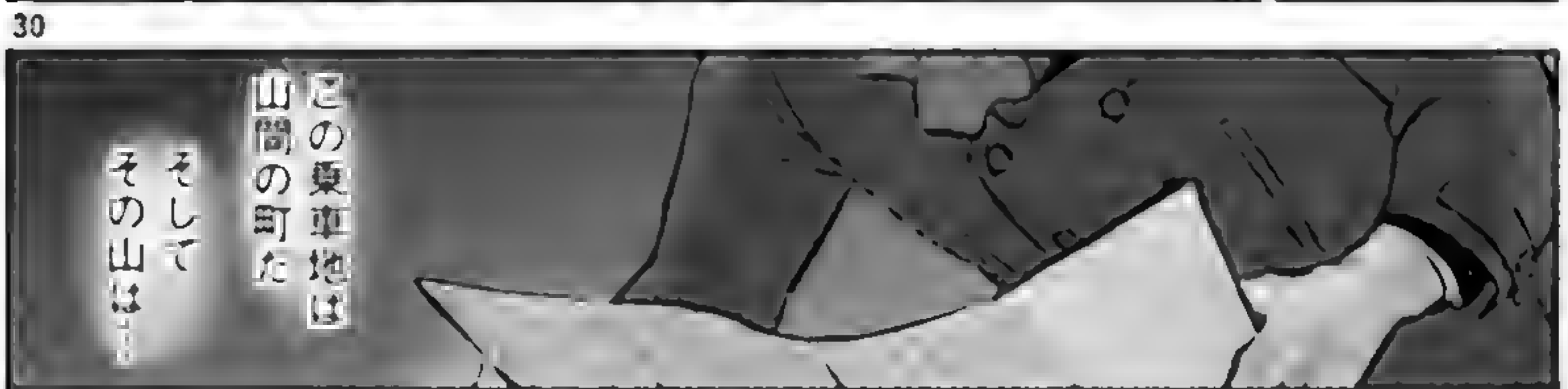
彼女は過去を一切語らなかった
そして誰も尋ねなかった
神の庭はそういう場所です
あなたは彼女の友人だと
よくもそんな嘘(うそ)を……

ガタガタ
ギッ…
ここまで来て逃げられるかよ……
かなり犯罪っぽいけど…

マザーの過去は誰も知らないらしいが……
聖ベネディクトの「戒律」によると……

切符……!
この地名は……!?

発信音の後メッセージを……
俺だアレハンドロだ
分かったぞ
マザーの出身はポーランドじゃなかった
暗号の元の言語は……

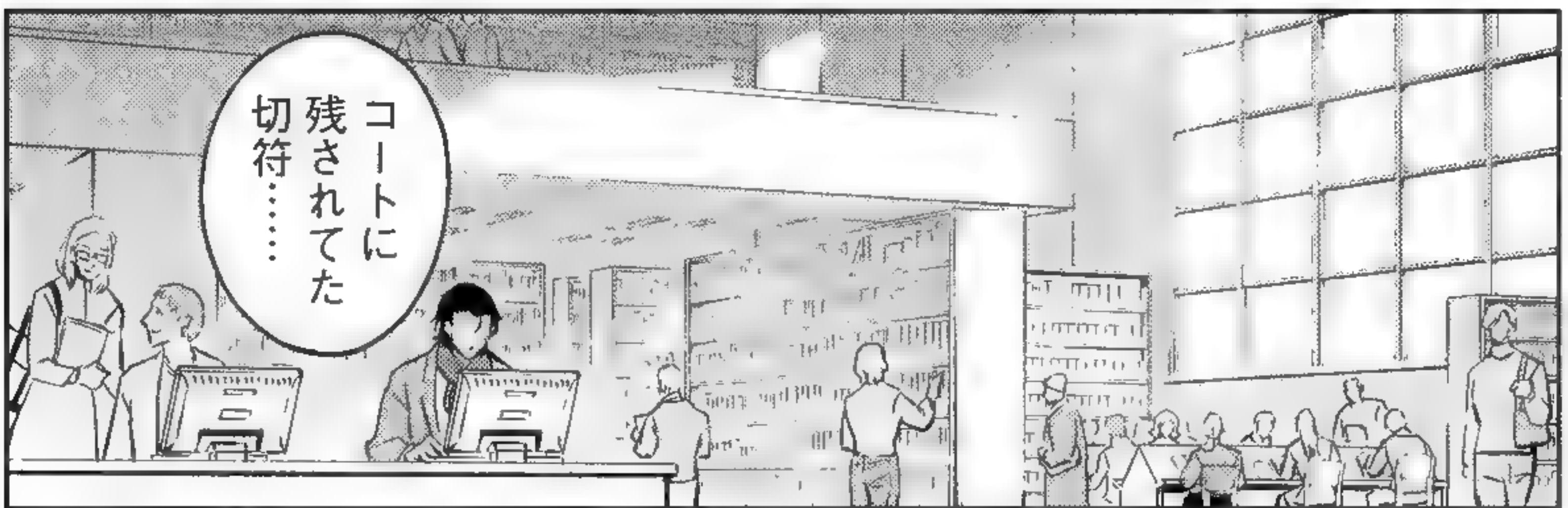
この乗車地は山間の町だ
そしてその山は……

国境線…!!
マザーは
ソ連から国境を
越えてきたんだ
宗教が弾圧されていた
母国から修道女になる
ために亡命したんだ
答えはこの先にある…!!
近づいた…

コートに
残されてた
切符……

あの乗車駅
からすると
マザーは
この町から
国境を越え
ポーランドに
入った可能性
が高い……

町の名と…「86年」
「亡命」「国境」
あたりで検索して
みるか
カタ
カタ

すみません
この日付の
この記事を
見たいんですが
ええ
あら
偶然

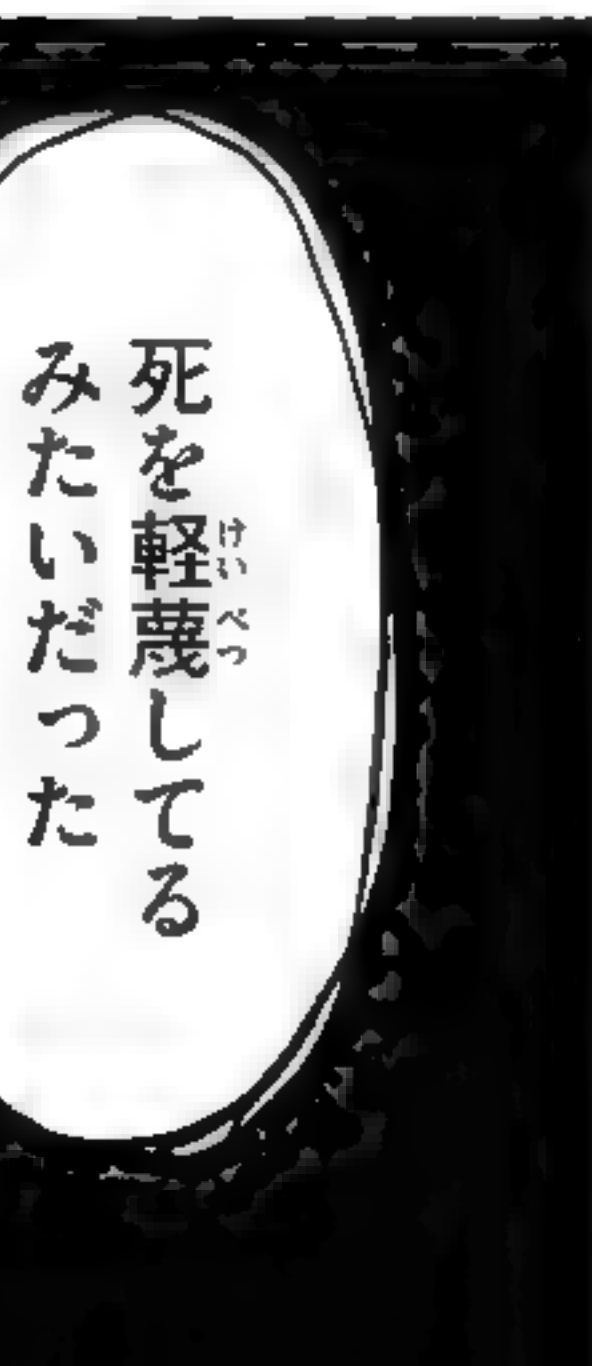
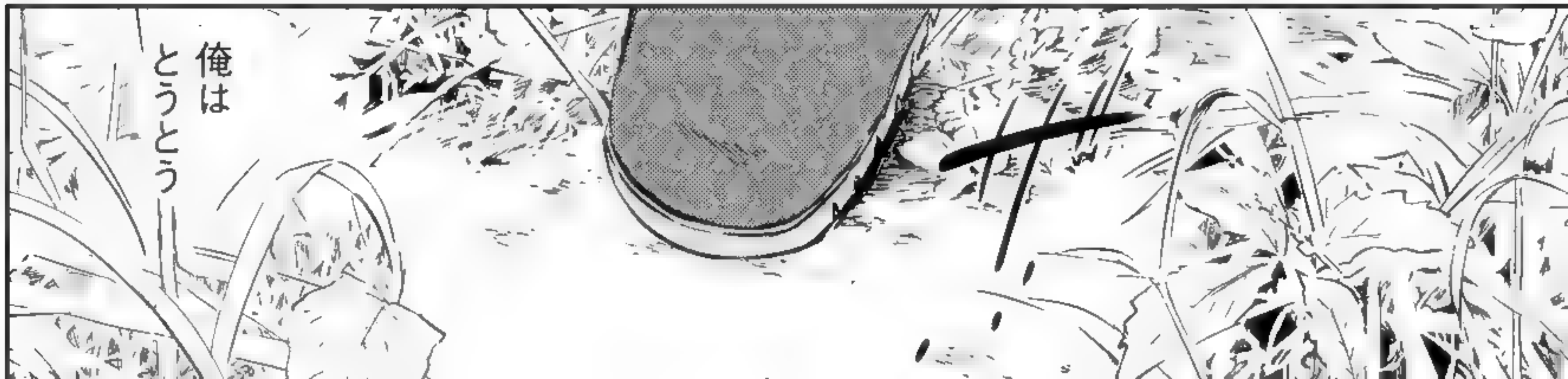
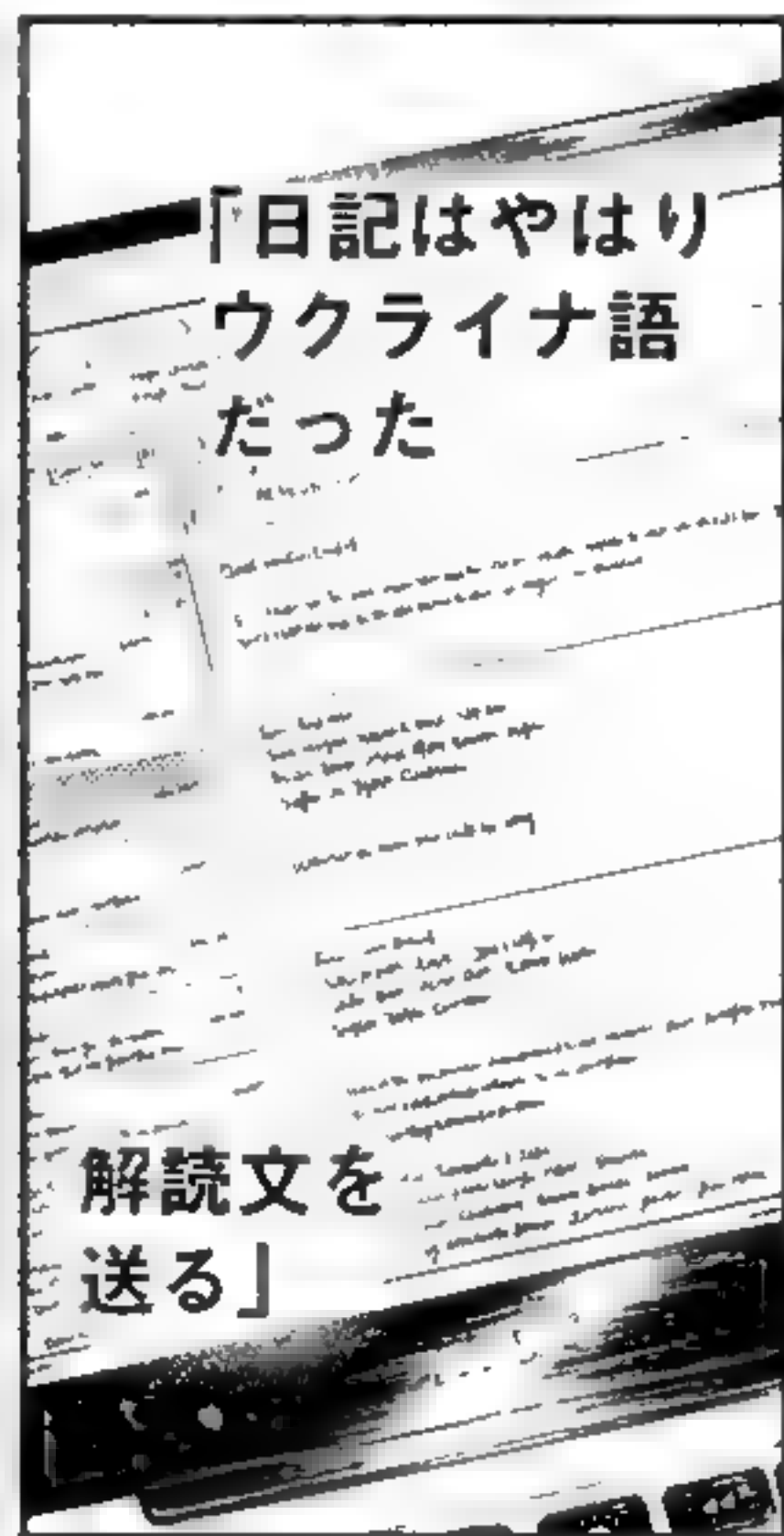
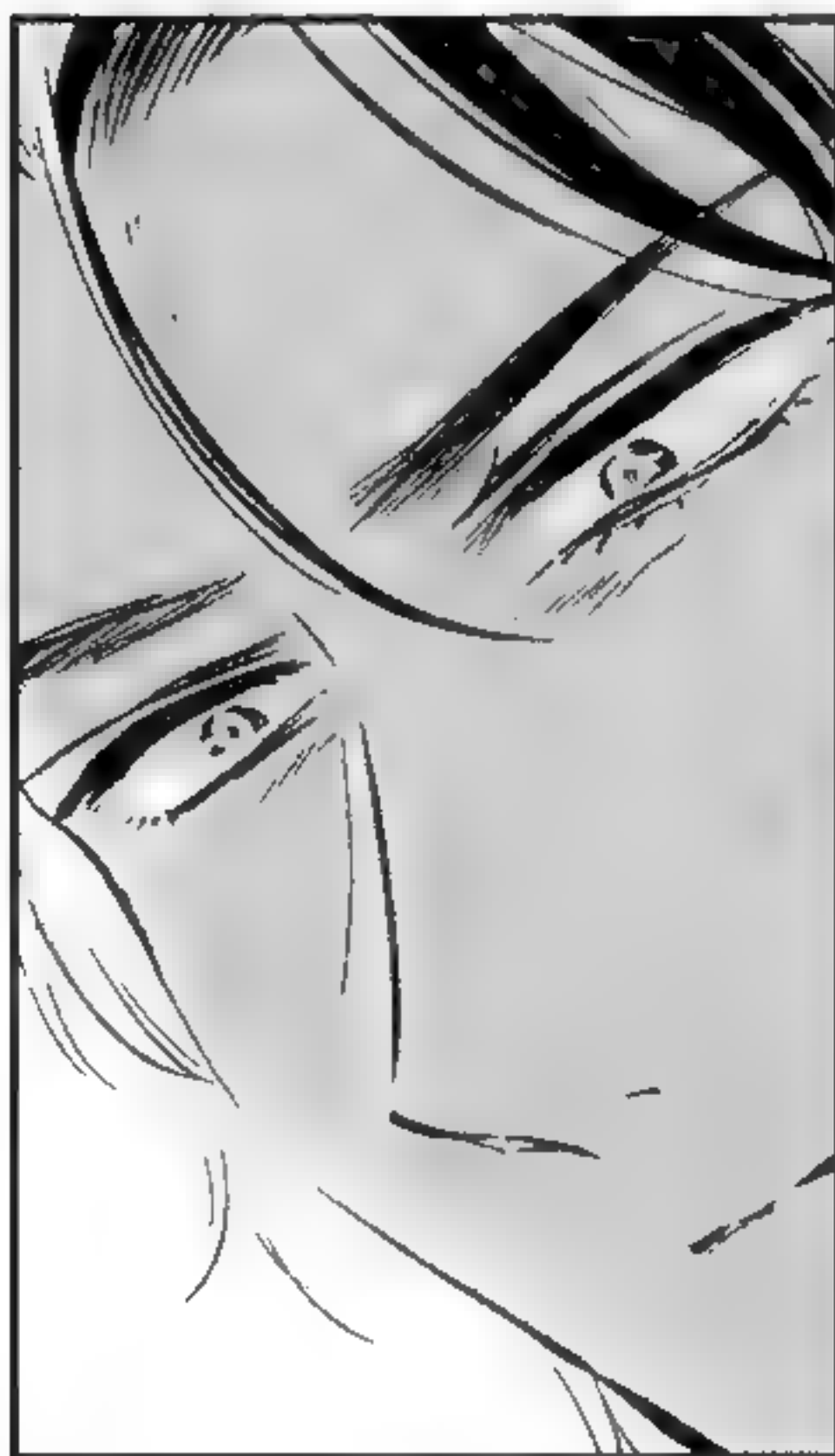
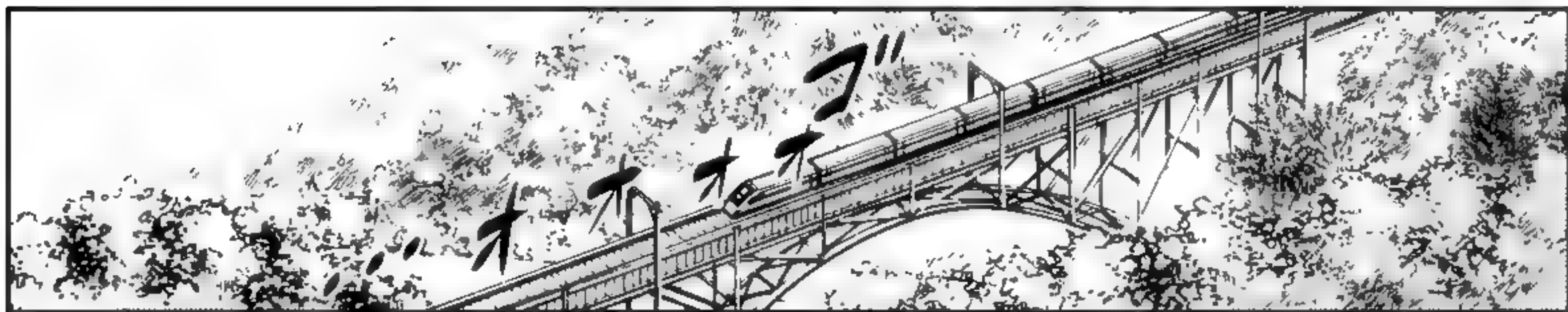
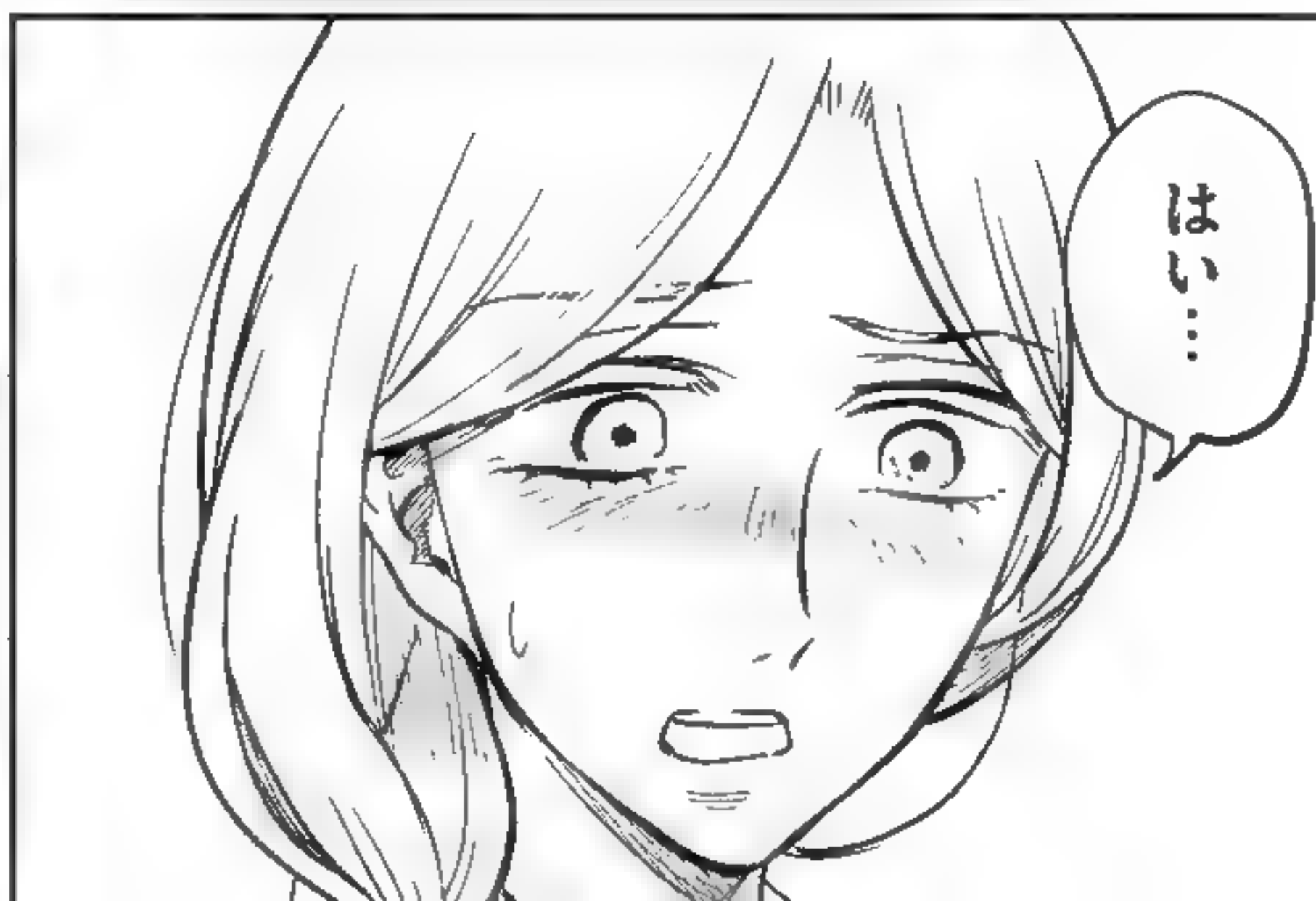
この事件
なら……
イザークさん
に聞けば？
え？

早速ですが…
あなたが'86年に国境警備兵をしていた時見た亡命者の女性というのは…

この人ではありませんか？

あ…あぁ…

何てことだ…
そうだ…
その通りだよ……

…失礼ですが…あなたは銃を持っていたはずですよね？
なのに何故取り逃がしたんですか？

もちろん銃を向けて制止したよ
しかし彼女はまるで…

死を軽蔑してるみたいだった

死よりもずっと
恐ろしい物を
見た後のような
目だった

そんな物が
あるのかは
分からないが…

ゴオオオオ

「日記はやはり
ウクライナ語
だった

解読文を
送る」

イザーク氏の話

そして

解読された手帳……

始まりの
地に着いた

彼女の名は
フェーネチカ

1985

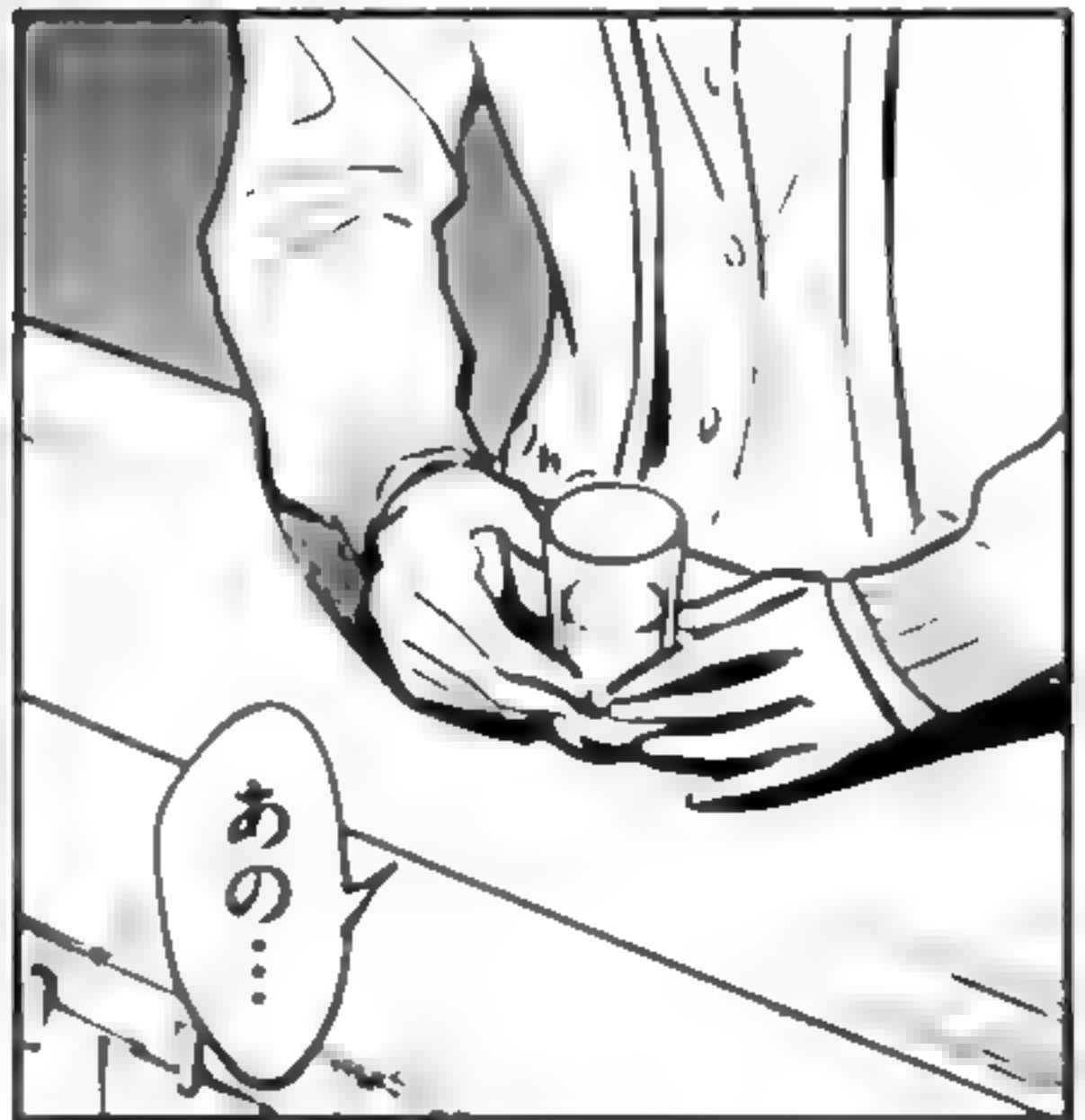
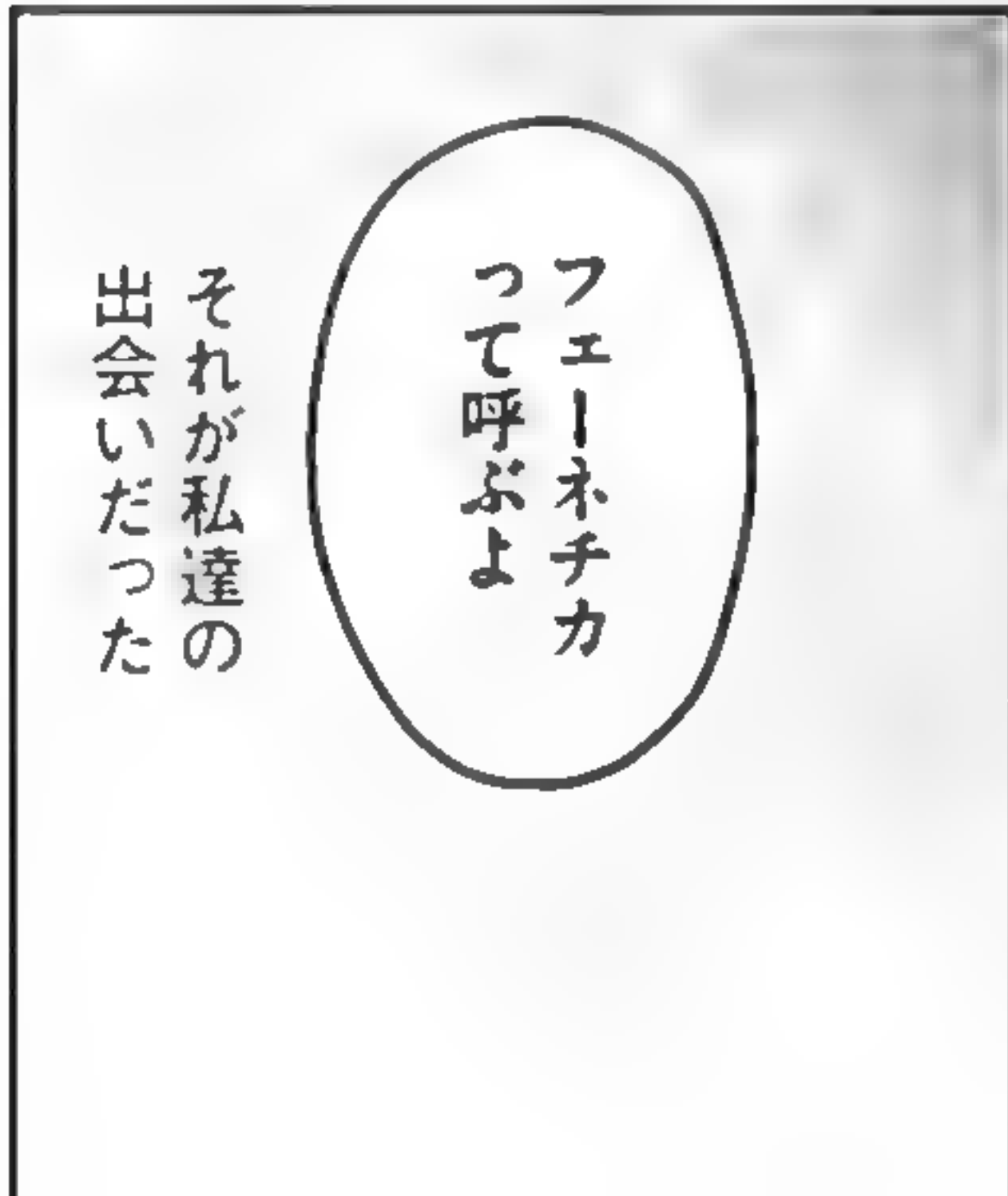
この方程式は
まず……
だ
誰ですか
今消しゴムを
投げたのは…
クス
クス…
困りますよ
先生
もう少し
毅然としてもらわなければ
はい…

えーい
飲んでやる
カラン
カラン
私だって
大人なんです
からね！
ワァ
ボワン
……
では次の
ニュース
偉大なる指導者
レーニンのミイラの
定期保全が終わり
モスクワでの
展示が再開されました
レーニン廟は
大勢の人々で
にぎわい…
カチャ…
カラン
カラン

よお！
ああ
親父さん
ウォッカを
はいよ
すごい人出
だな 何の
騒ぎだ？
ミイラだよ
初代議長の
へぇ…

死んだ後もずっとそのままだってのは
正直俺は
怖いような気がするな

フェーネチカって呼ぶよ

それが私達の出会いだった

サーシャは
発電所の
作業員だった
ウォッカを沢山飲み
仲間が多く
口数はそう多くなかったが
はっきりとものを言った
誰が想像
できただろう…
私達が恋に落ちるなんて
でも
いつしか
そのように
なったのだ

私達は
ケンカをする
こともあった
待つよ
ドス
いい!いらない!
ドス
ドス

やれやれ
フェーネチカ
さじ2杯くらいしか
食わないくせに
そんなにいつまでも
カッカしてられるなんて

何もかも
アンタくらい
燃費が良ければ
ソビエトの
エネルギー供給は
安泰だな!
何よぅ
私達は

ずっと
一緒に
いるはず
だった

先生

煙が

…火事
かしら…

妙な色だな
光ってる

聞きました？
先生

どうも今朝から
発電所で
火事が起きてる
らしいですよ
!!

41

すごいな
ワァ
大丈夫
かしら…
ワァ
明るいわ
こう言っちゃ
なんだけど
きれいな
もんだねぇ

あの
ああ！
フェーネチカ！

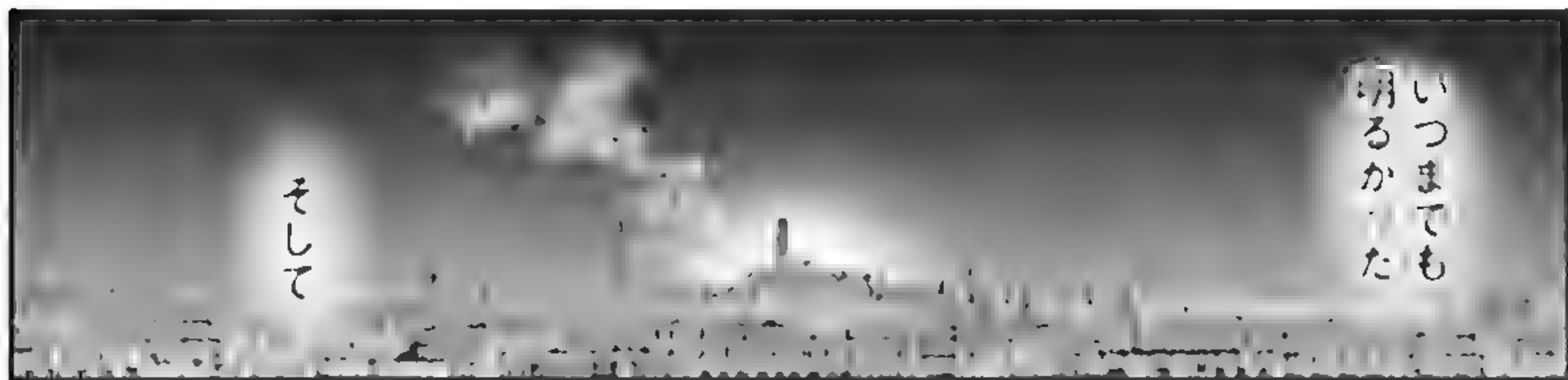
サーシャは当直で発電所に…
朝からずっと連絡が取れないんだ
あちこち電話しているんだけど…

大丈夫
ええ
だってあの大きな発電所ですよ
きっと消防や軍が大勢来てくれてますよ
ええそうね

窓の外は

いつまでも明るかった
そして

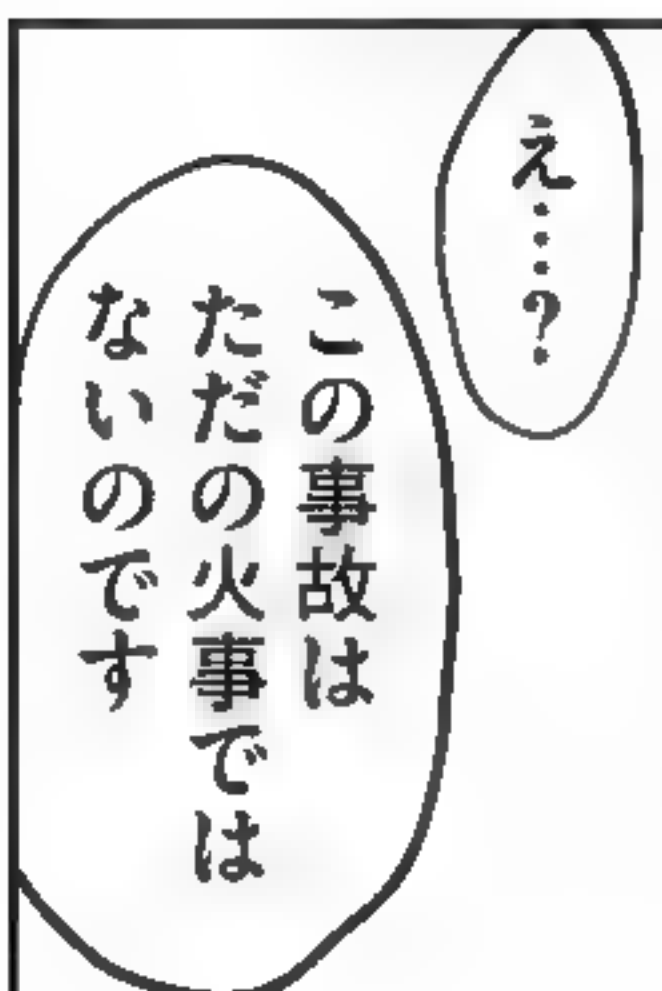
そ

そんな

いいえ!! ここはサーシャの家

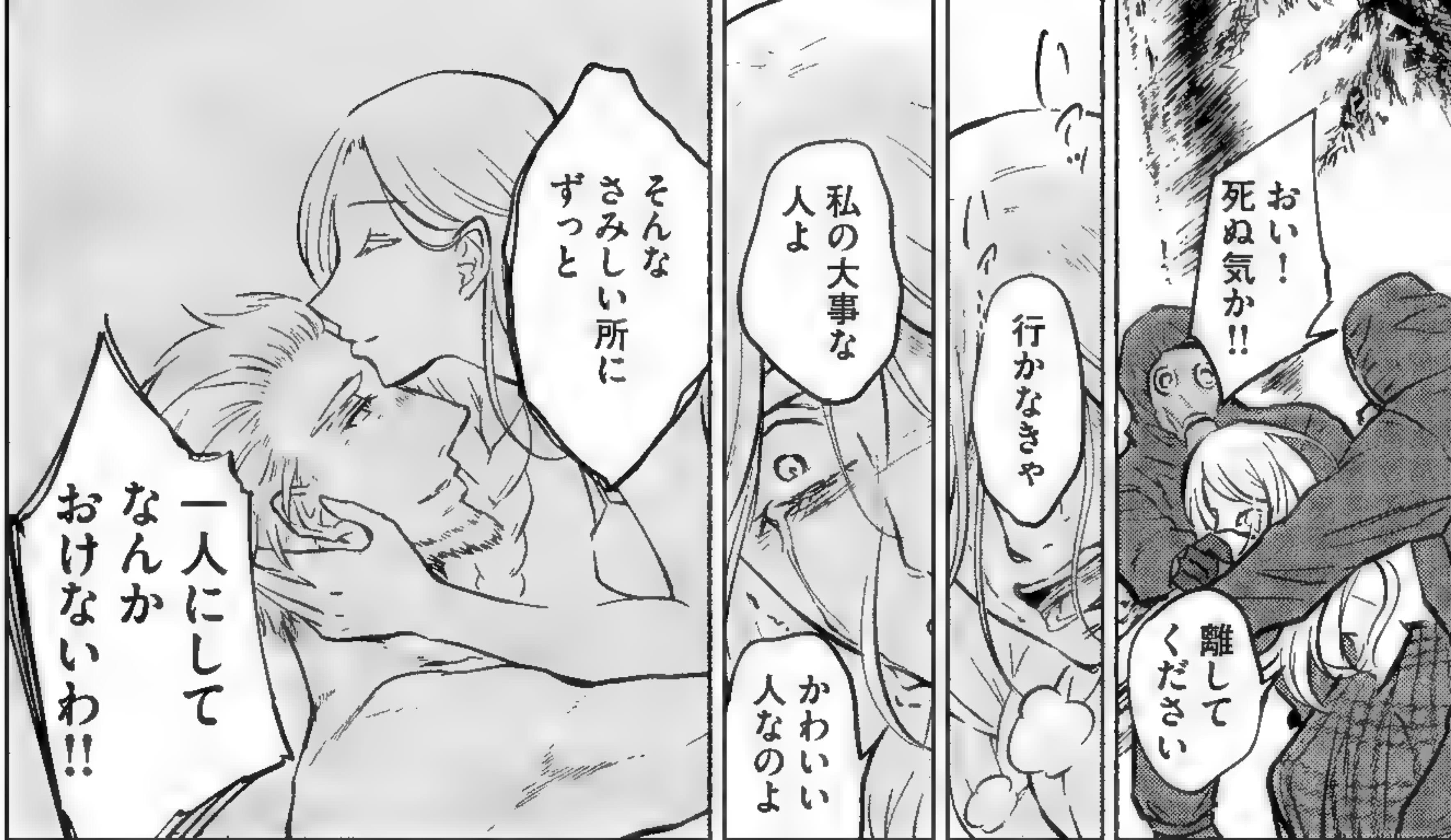
彼を迎えるまでここにいます

たとえそれが 魂の消えた 身体だけだとしても

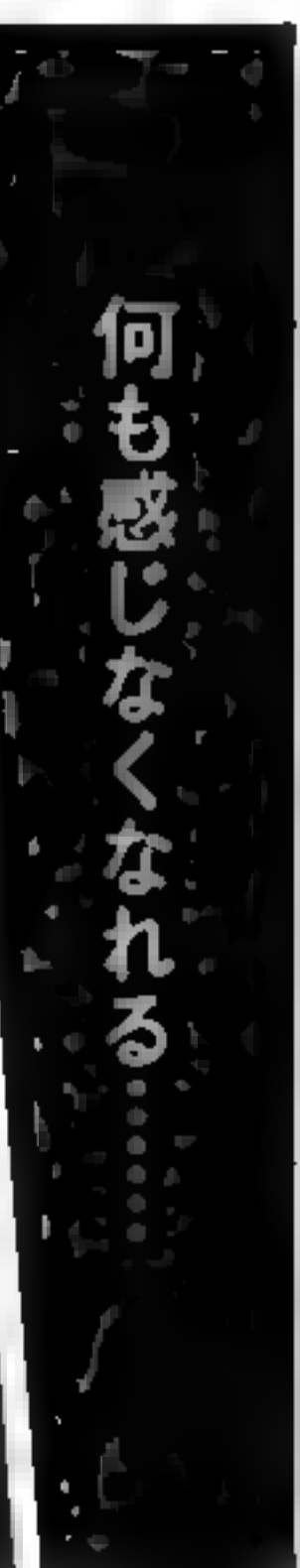
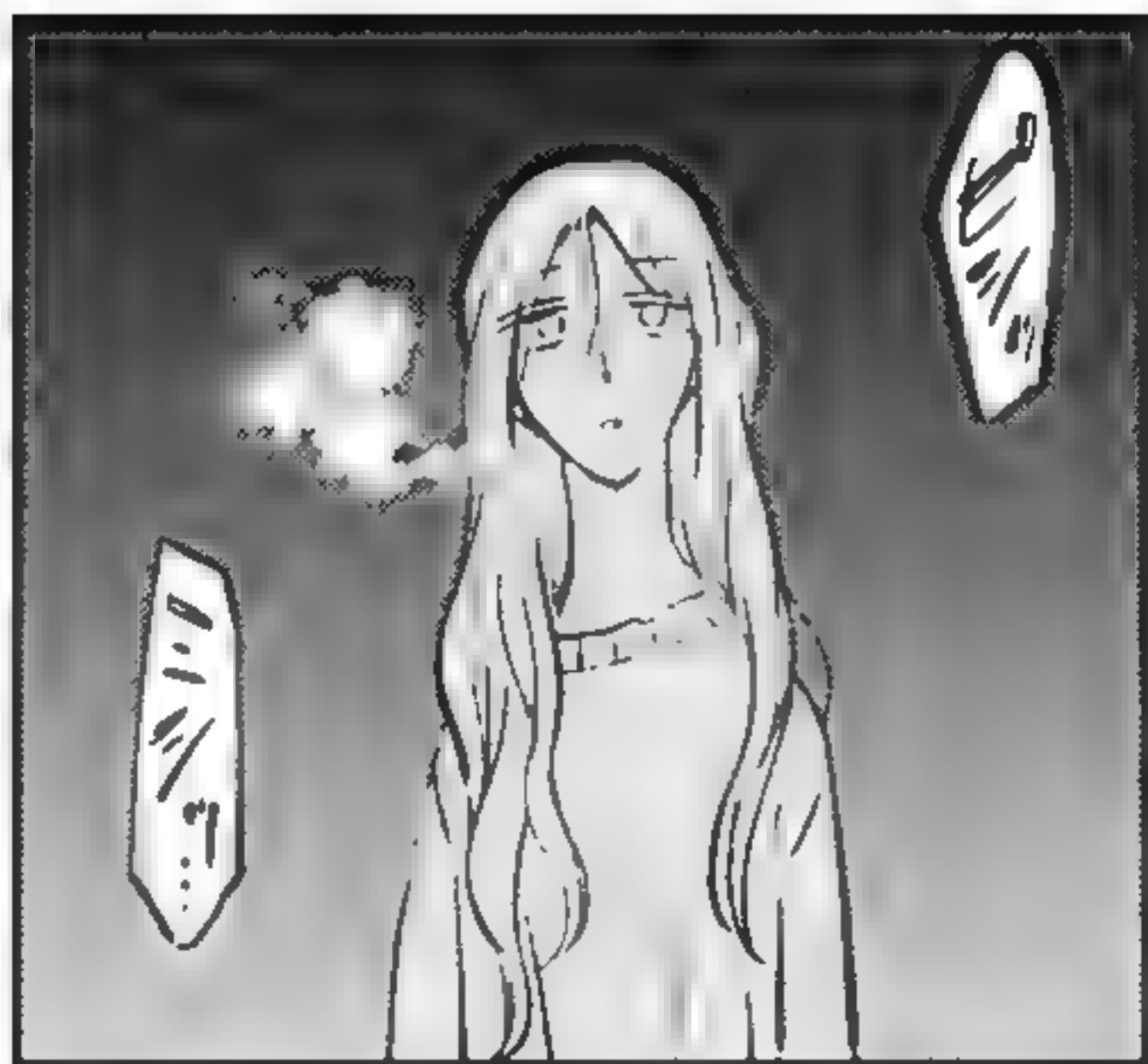
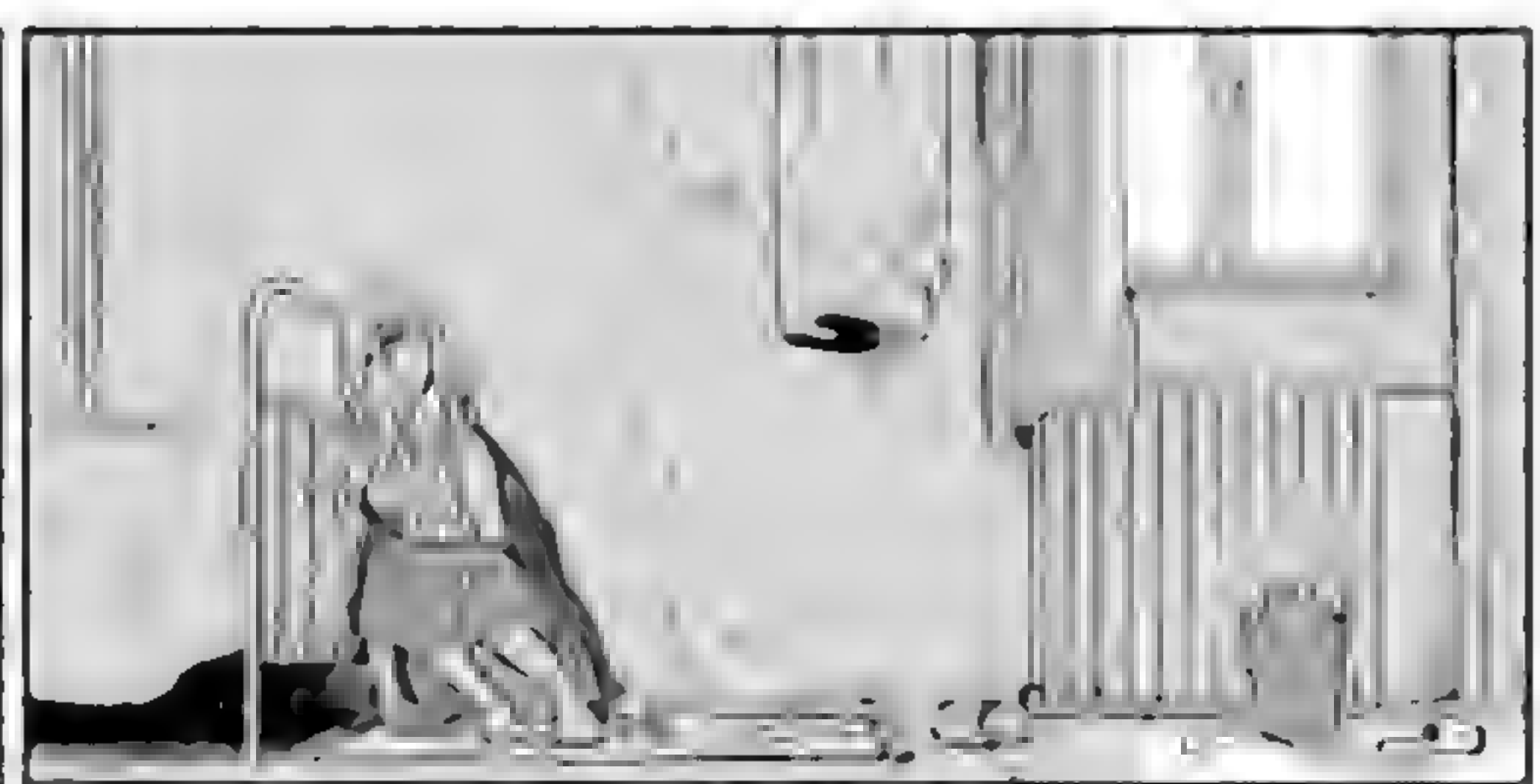
44

※サーシャはアレクサンドルの愛称。

彼の遺体を運び出せば
周りの物も放射能で
汚染されてしまう…

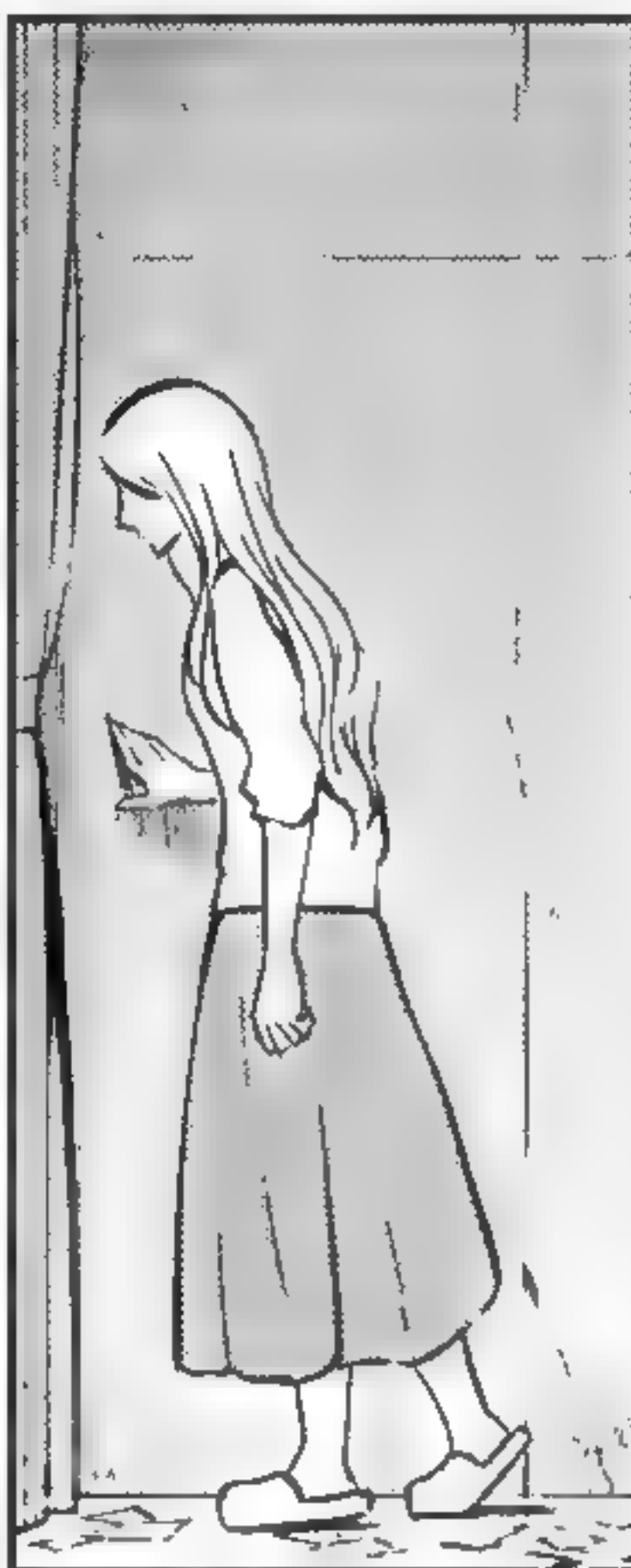
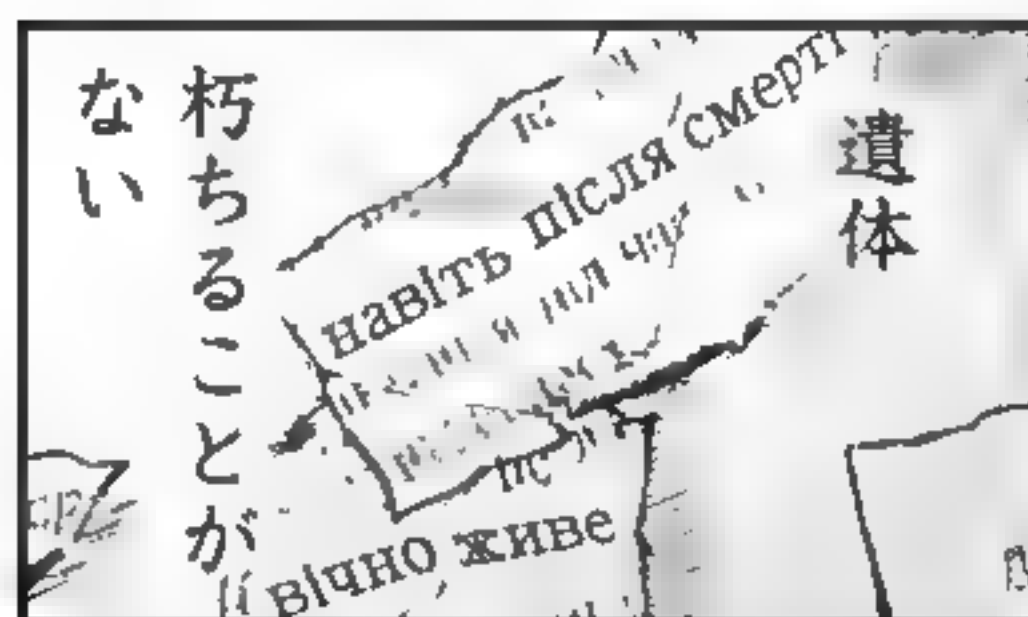
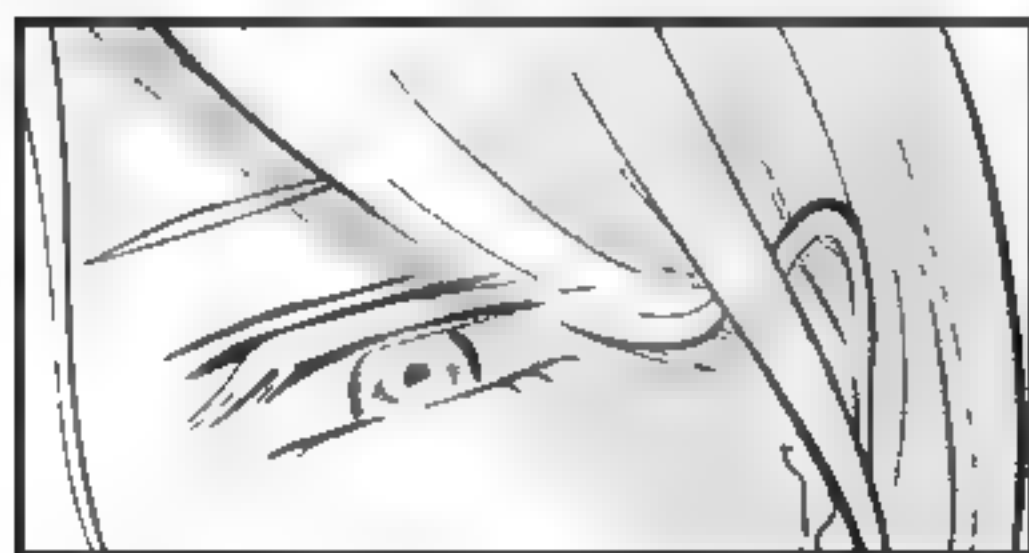
発電所ごと
コンクリートで
永久に封鎖する
しかないのです…

それから
私達町の人は
あちこちへ
疎開をしました

サーシャのお母さんは
ある晩 寝巻きのまま
道路へ飛び出して
死んでしまったと
聞きました

中の遺体はずーっとそのままなんですって…

——ああ!!

サーシャ
あなたを置いて
私だけ 大地に還る
ことなんてできない……

遺体
навіть після смерті
вічно живе
朽ちることがない
ビリ
ビリ
くだらない……
バタン…

навіть після смерті
вічно живе
Тіло святих
聖人の肉体は死後も永久に朽ちることがない

……なら

私は聖人になろう どんな事をしてでも
サーシャと一緒に
この地球が終わるまでずっと
土に還らずにいるために

そのためには修道女になることだ
ゴトン
ガタン

宗教が取り締まられてるこの国じゃ大した活動は出来ない…
装備がいるわ

おじさんそのラジオ見せて

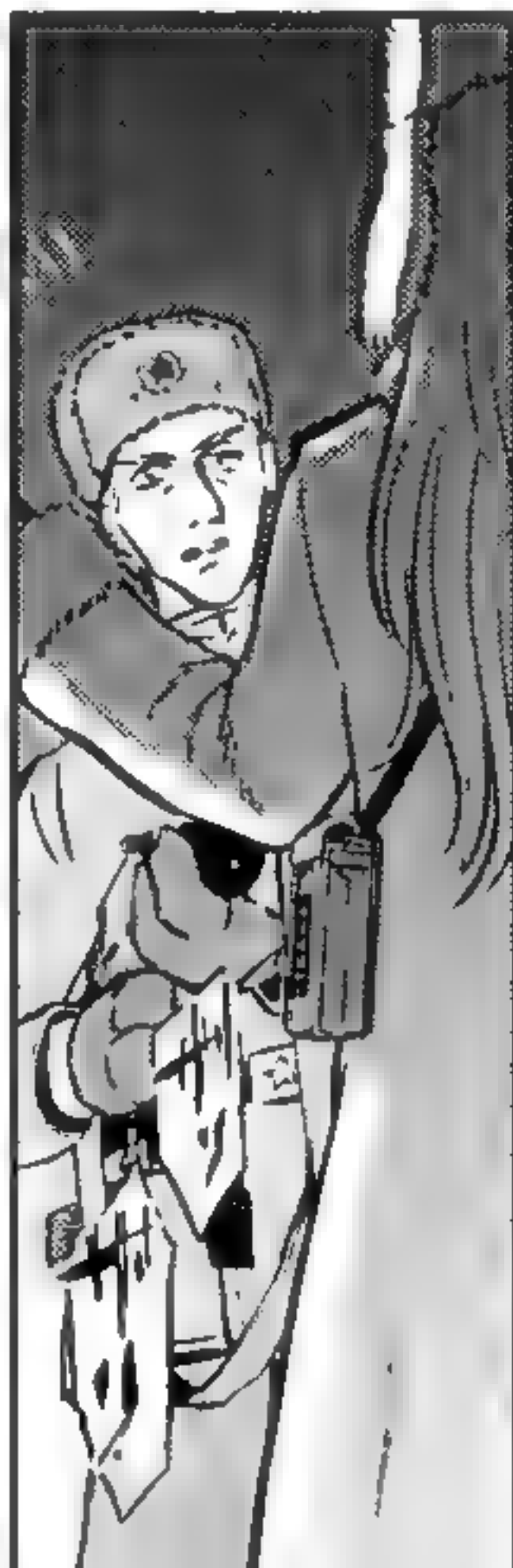
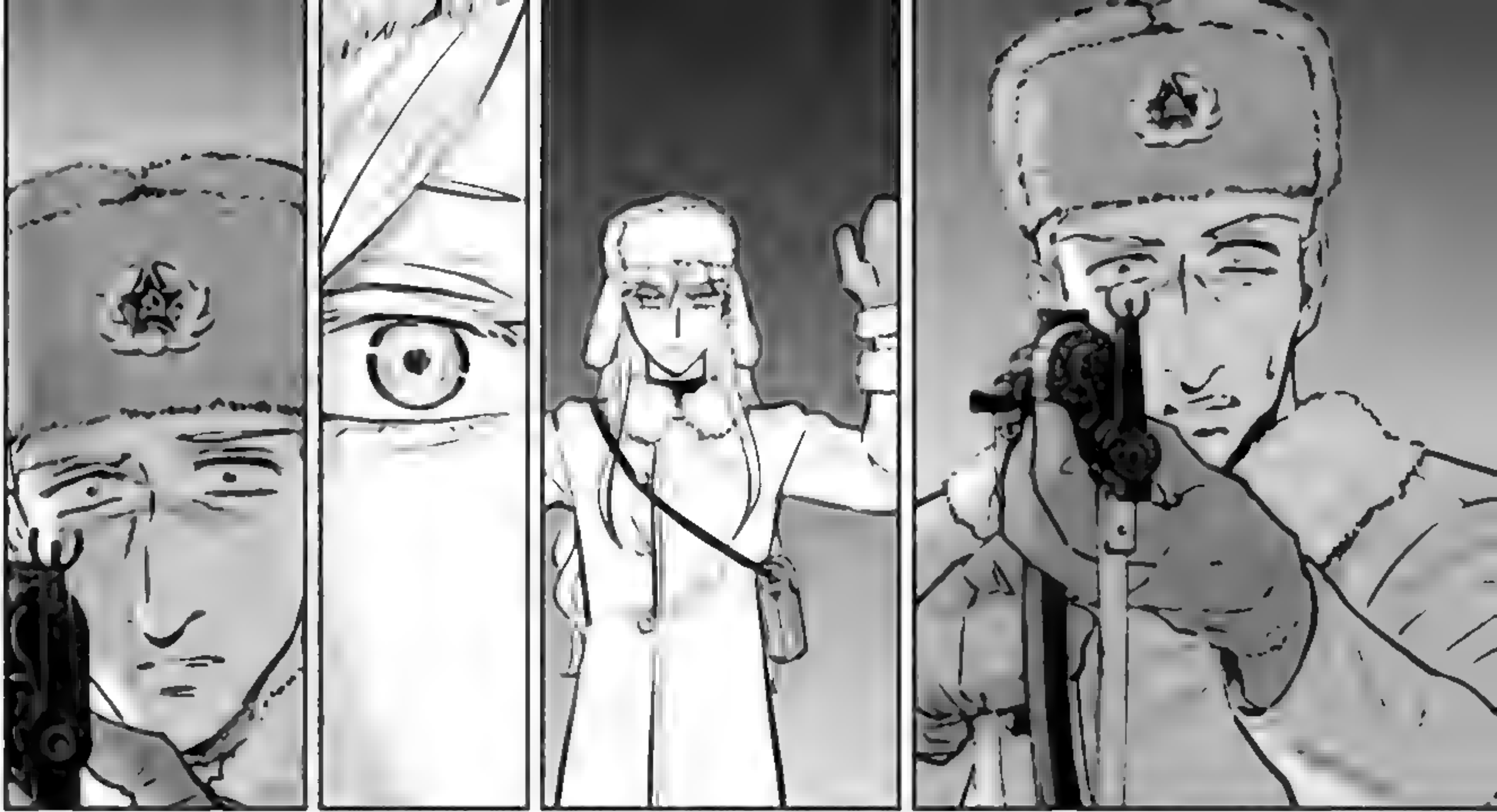
嬢ちゃん
そいつのはガラクタばっかりだぞ
ロクに放送も入らない

それでいいわ

追え！
国境を越える気だ！
回り込め！
ハァッ
ハアッ
あと少し――
国境まであと少しよ!!
止まれ！
手をあげて膝をつけ
……
ハァッ
早くしろ
俺も女を撃ちたくはない
？
何の音だ

教えてあげる

私はチェルノブイリから来た女

……
いいよ
行けばいい

さようなら
美しい
私の
故郷
そして
それから
50年

気弱だったフェーネチカは 自分を作り変え
やがて
聖人の有力候補 マザー・ドロテアになったのだ——

帰りのバスは一時間後か…
…おっと

この頃妙に充電の減りが早いな……
何か変な機能でも起動させてたか…?

Ajuste
SPY-conejo
おいおい…
嘘だろこれ…

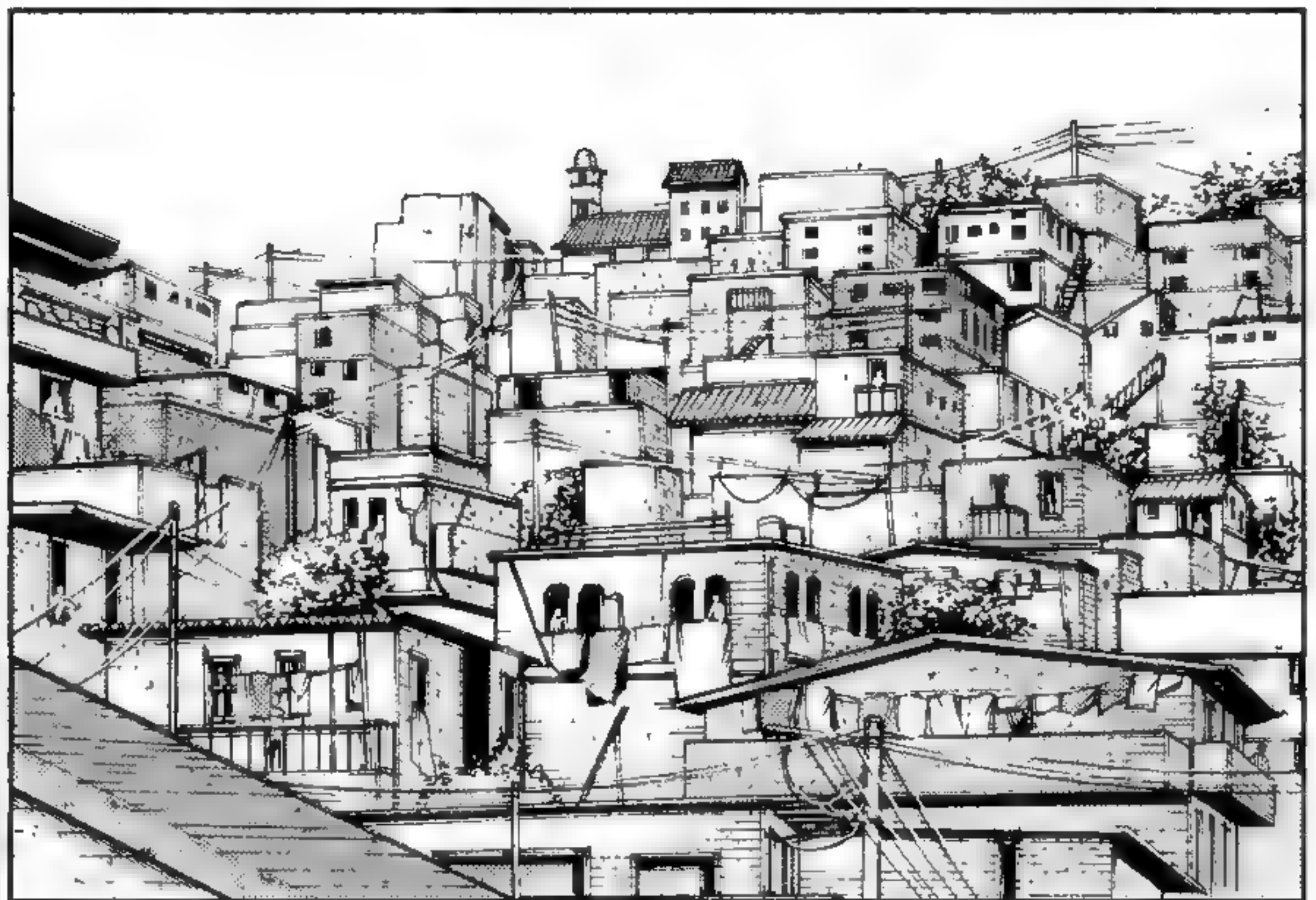
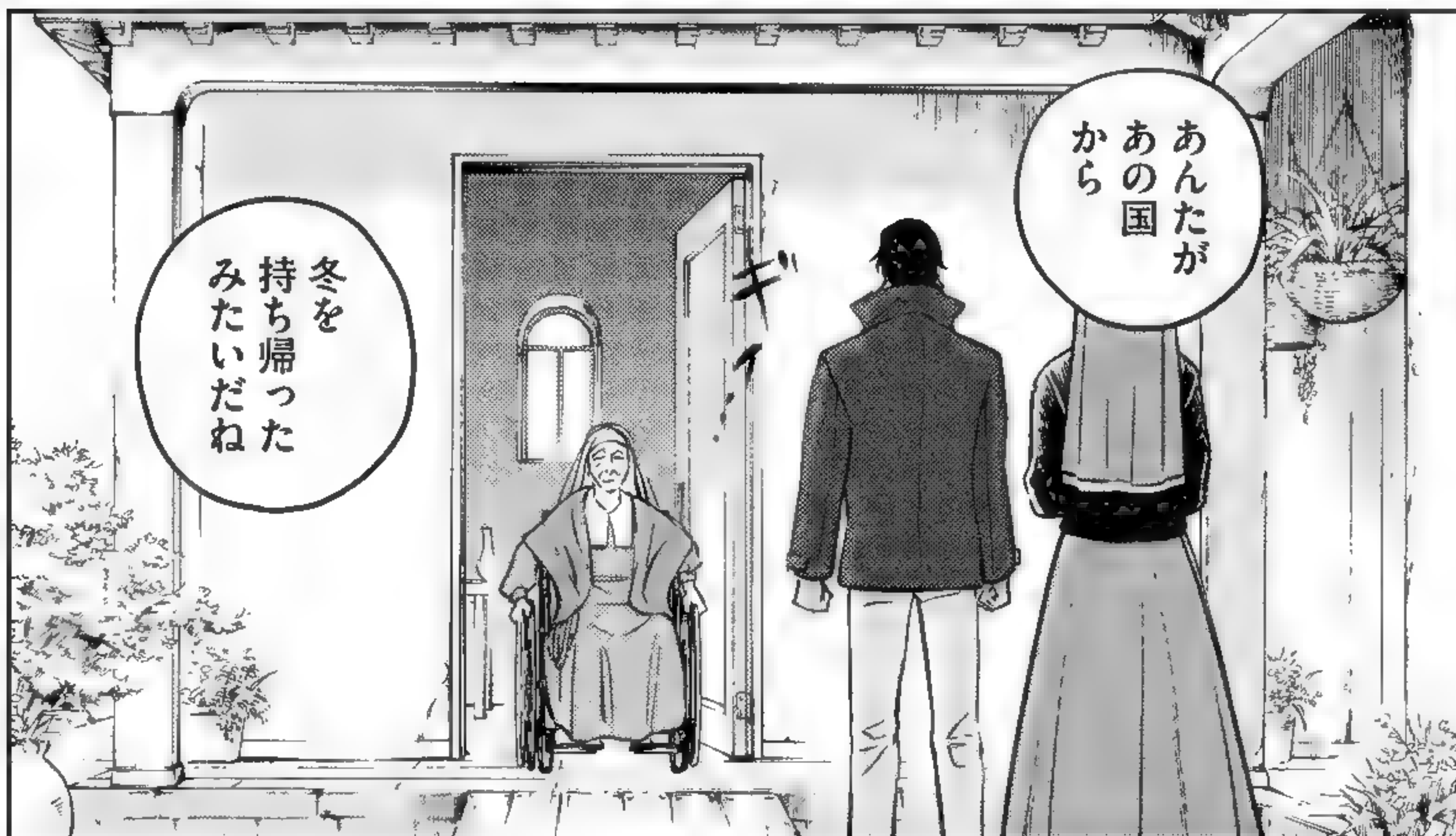
いつ誰が?
思い当たるのは……
どういうことだよ

聞いてんだろ?

初めから俺の事気づいてやがったな 婆さん ——いや

フェーネチカ

この寒さ
記録にない異常気象だと

——まるで

あんたがあの国から
冬を持ち帰ったみたいだね
ギィ

車椅子…
おかえり私の息子

全部
見てきたんだね

アンタは嘘までついて私のことを探ろうとしてたからね

私の過去も
辿ると
踏んだんだ

何で俺を止めなかったんだ

……この頃 体にガタも 来てるからね
あの人と 同じ名前の あんたが 現れた時…

いよいよ 審判の時が 来たような 気がした
…出会う人全てを 列聖のための 道具にしてきた…
それが 正しいこと だったのか…

…くっだら ねえ

それで俺が あんたの野心を 暴き立てたら どうする
一生の戦いを 今さら粗末に すんじゃねえよ…!
大体…
郵便です!
一体何の 便りだい?
速達で 送ってよこす なんて
え～と…
ビリッ

婆さん これ……！
あんたの 生前列聖審査が 最終段階に 入った……
ローマ法王との 面接日を 調整したいと…
パサ
マザー…！
上見て！

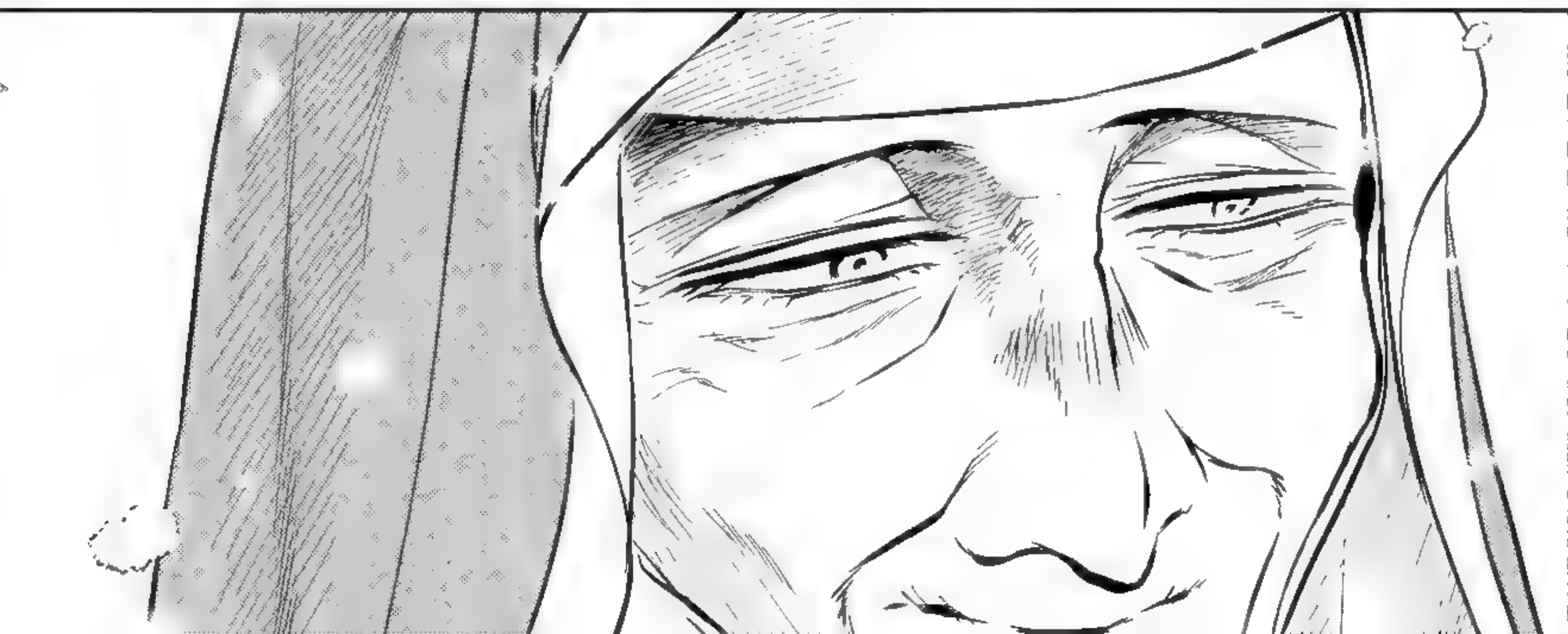
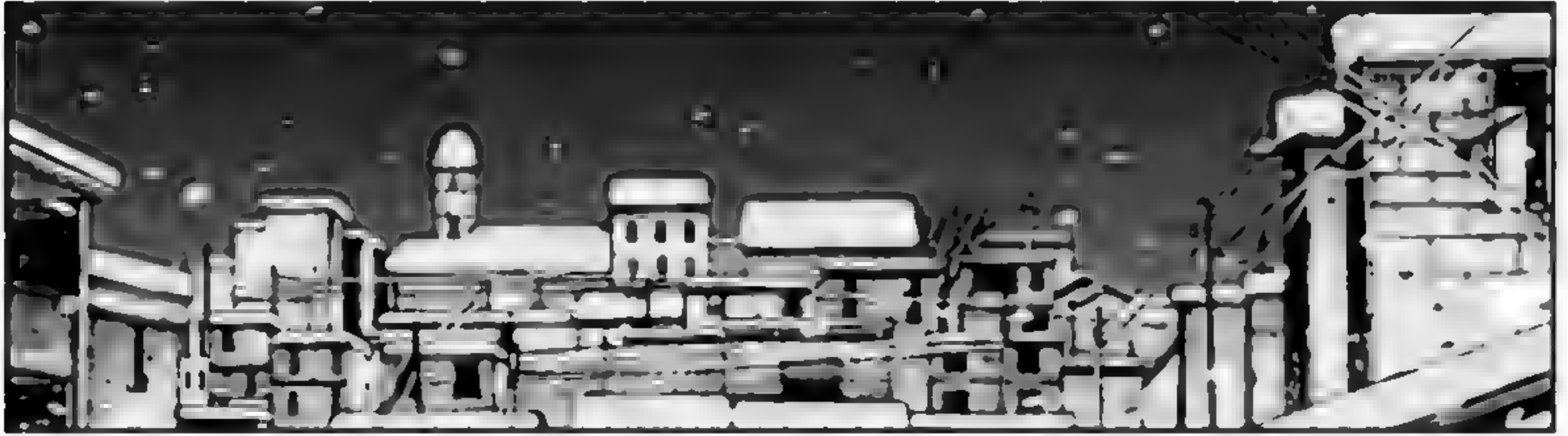
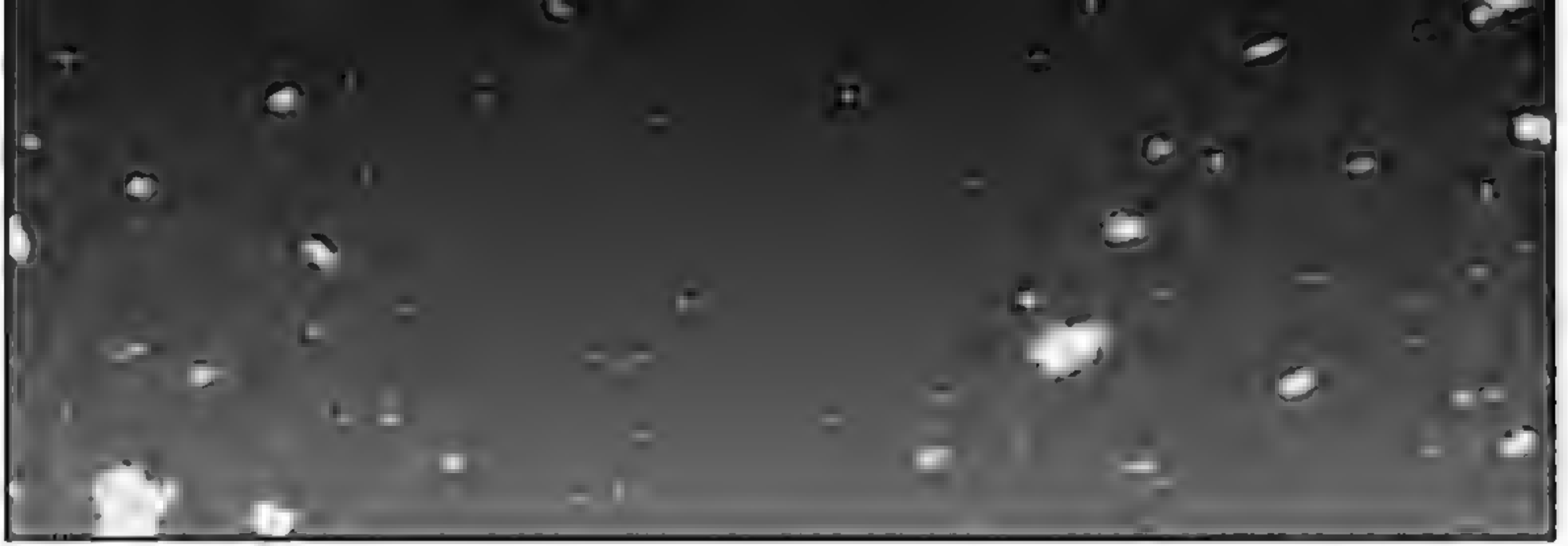
雪だよ！

「出会う人全てを列聖の道具にしてきた」って言ってたが……

今でも本当にそれだけか？

市内一帯雪の影響みたい
早く復旧するといいけど…
まただっ

良かったすぐ来てくれるそうです
誰を呼んだんです？
警官だよ
警官？
ここは色んな事情を抱えた人が集まってるからね
DVの被害者や犯罪の目撃者もいる

用心に越したことはないからね…

車から
降りた跡……？

歩いてきた
はずじゃ……

ねー
お巡りさん！

ピストル
持ってるの？
撃ったこと
ある？
こら…！
見せて！

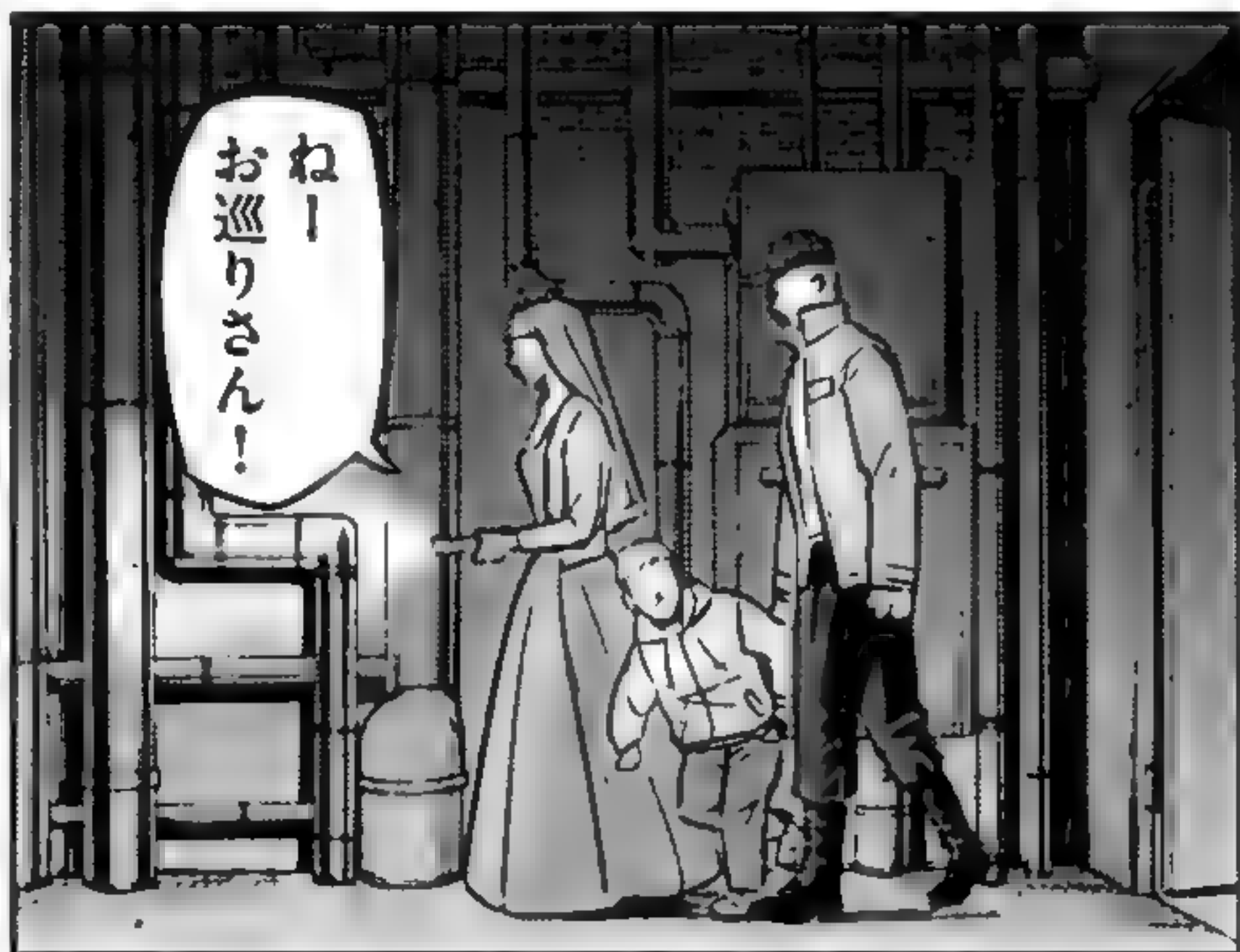
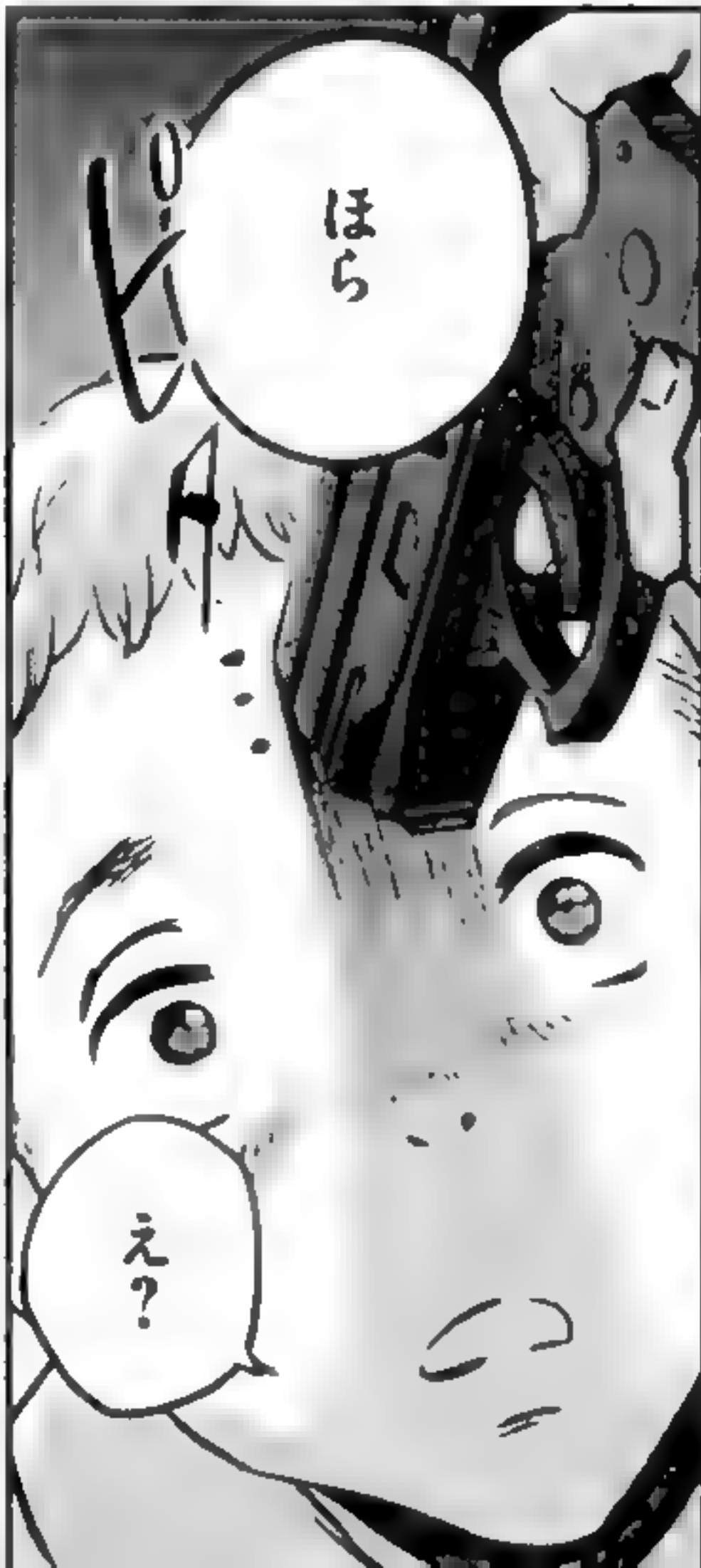
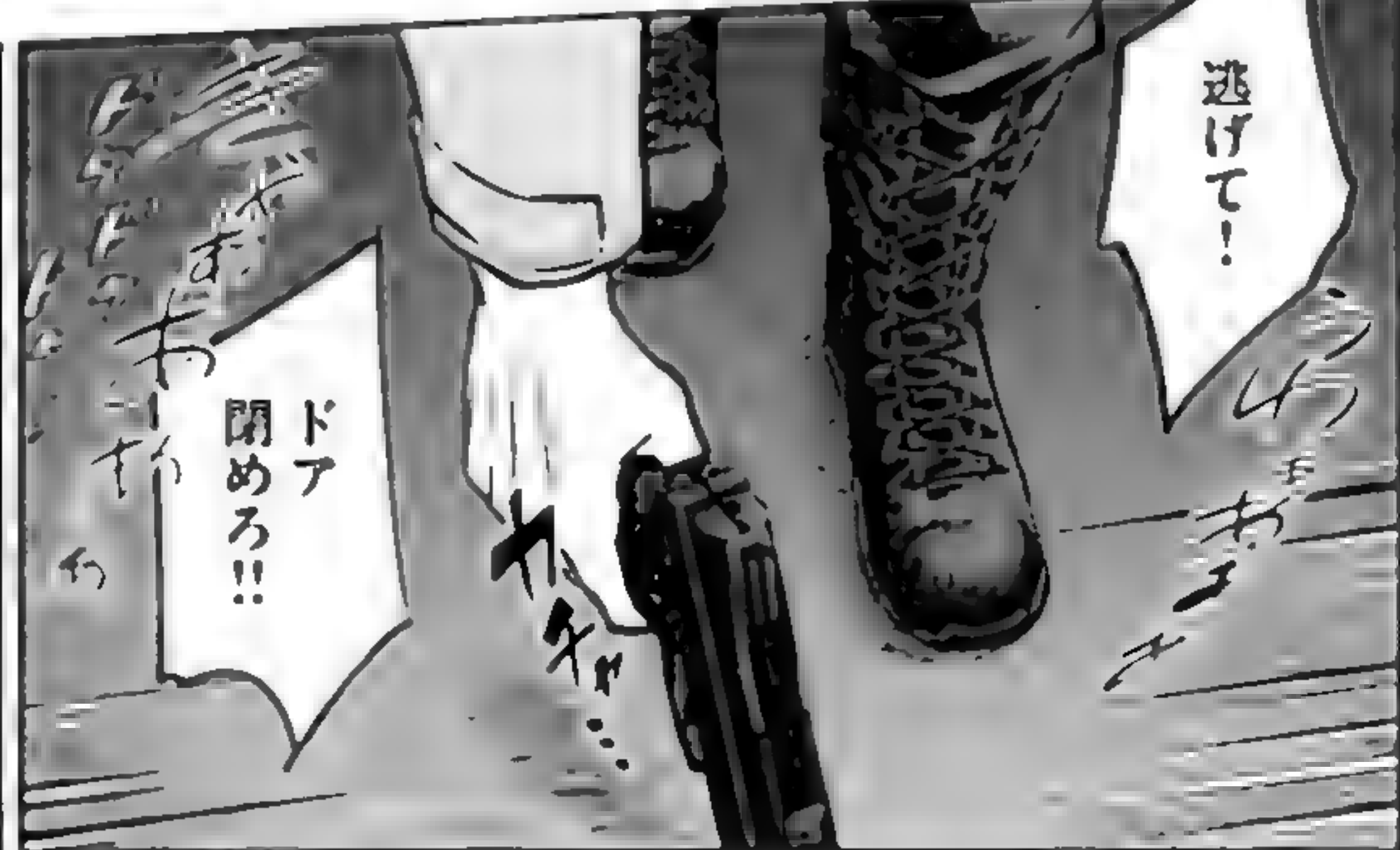
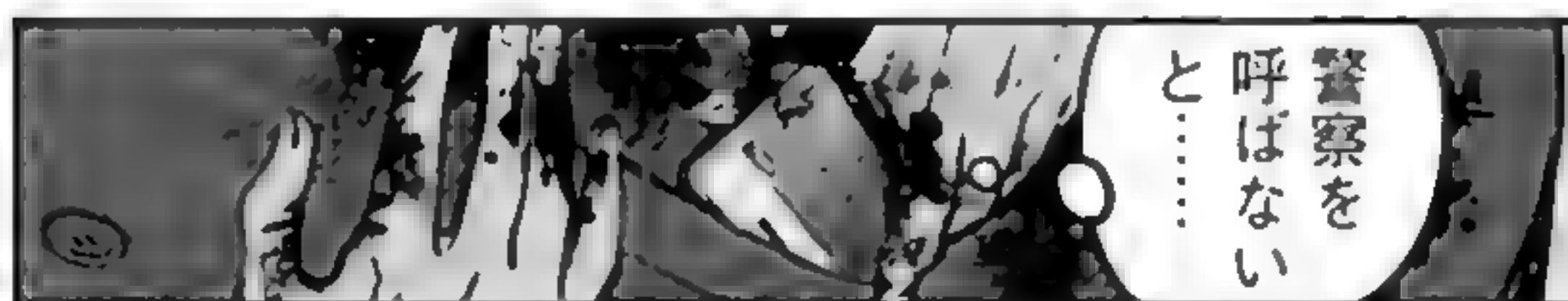
いいです
よ
そんなに
見たい
なら

ほら
え？

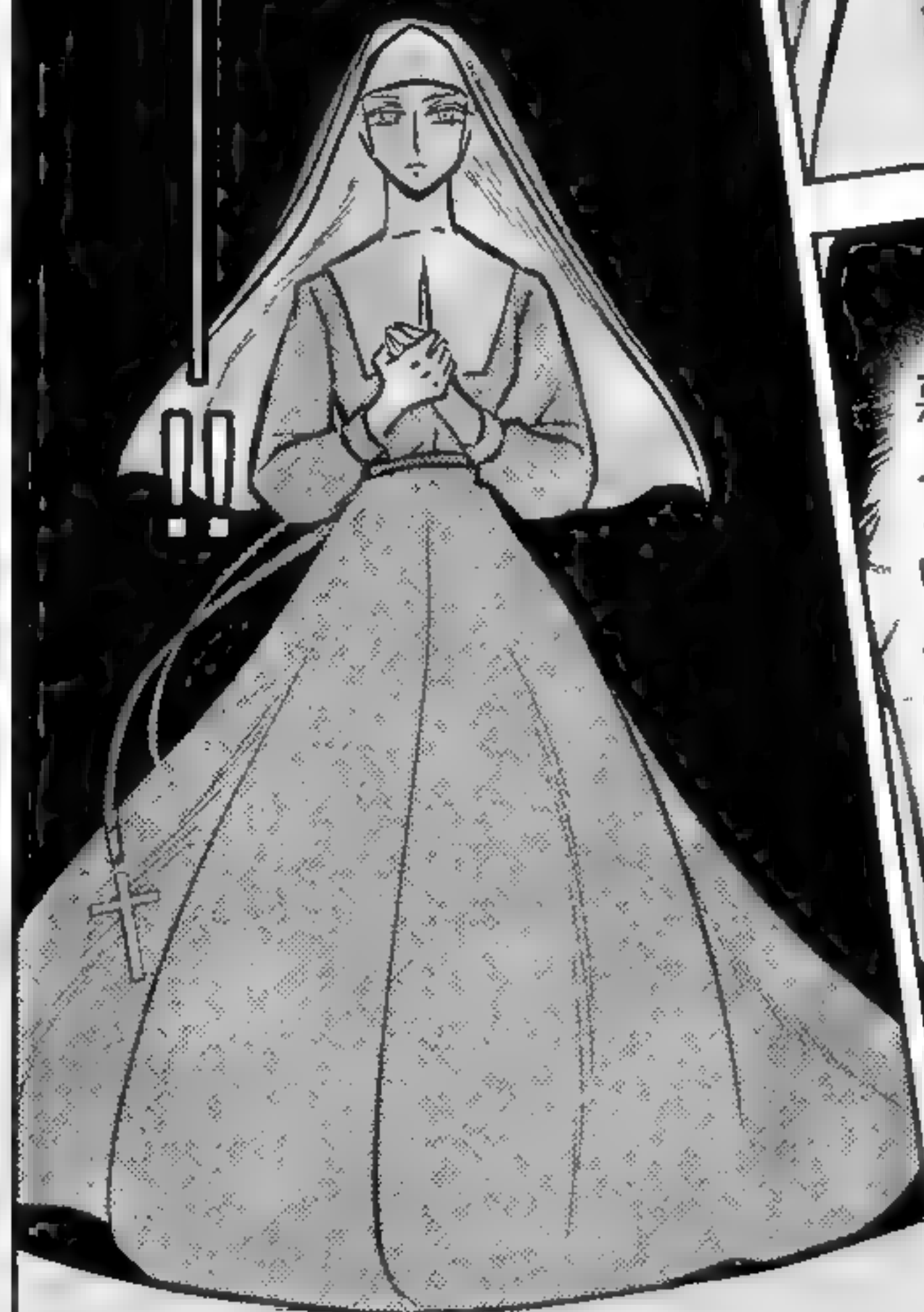
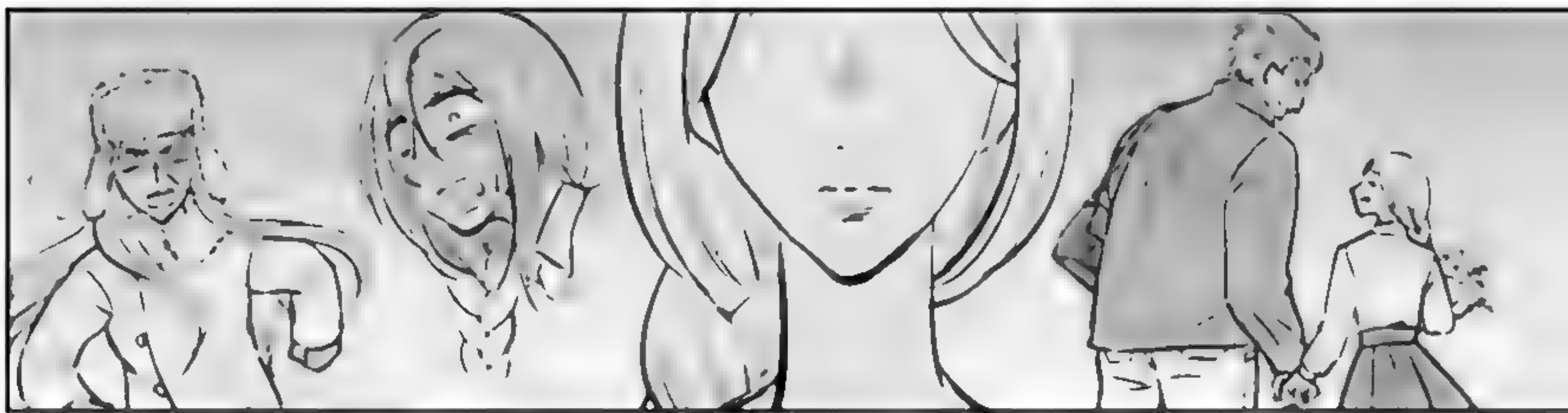
え…

てっめー…
早く…子供連れて行け…!!
何今の音!?
来ちゃだめ!
逃げて!
ドア閉めろ!!

ああ
奥の部屋に逃げたよ
バカ共め
だから言ったろ
俺一人で大丈夫だって
…そうだ…奥の部屋は行き止まり…
警察を呼ばないと……

…さて
お前はここの役立たずの連中ではないようだが……
かばうなら同じことだ
国家のダニは死ね

そこまでだよ

私のアレクサンドルに手を出さないでもらおうかね

う…
撃つ…な…
婆さん…
人を殺せば
列聖は無くなる――!!
だめだ…!
相手が
悪人といえど
あんたの一生を
かけた戦いが
無駄になる
頼むから…
撃つな
婆さん…!!
撃てよ!
当てられる
もんならな!
選べと
言うのか

サーシャか
この子らか…!!
神よ
貴方は

これで五分五分 さあ運試しだ!

あんたと私そして主の

三つ巴だよ!!

は・・・

近づかせるかよ!!

2

3
4
弾数はいくつだい？
大事に撃ちな!!
!!
5!
平気さこれくらい

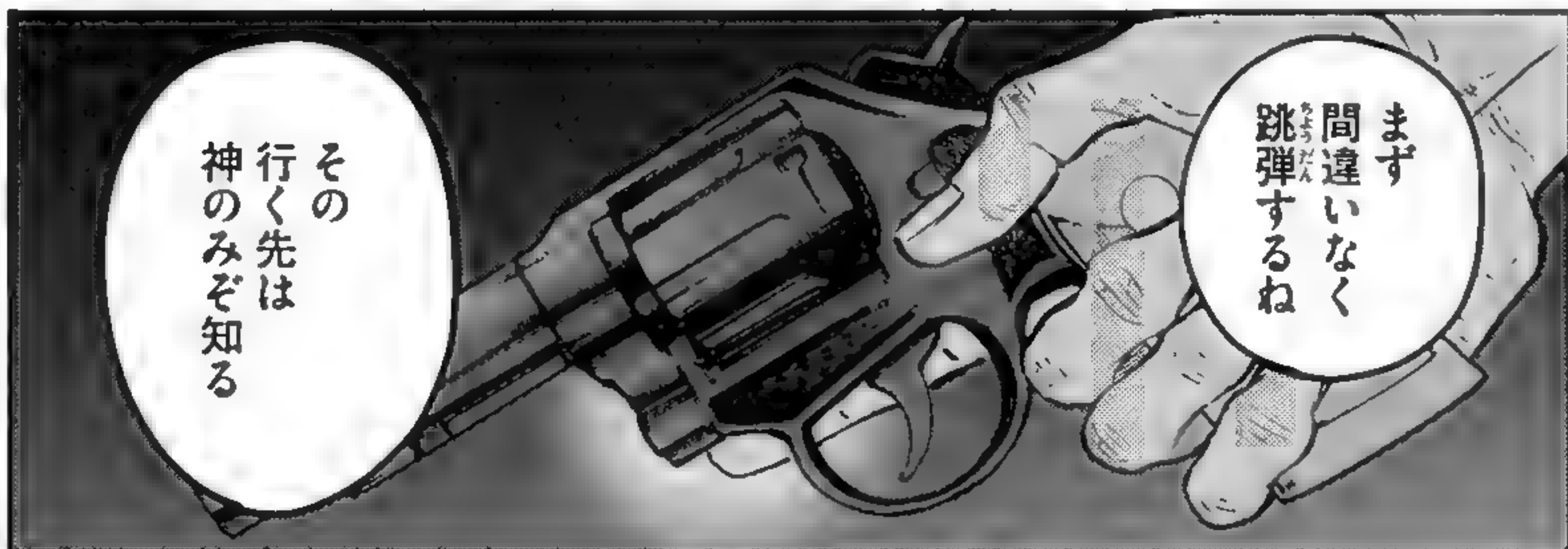
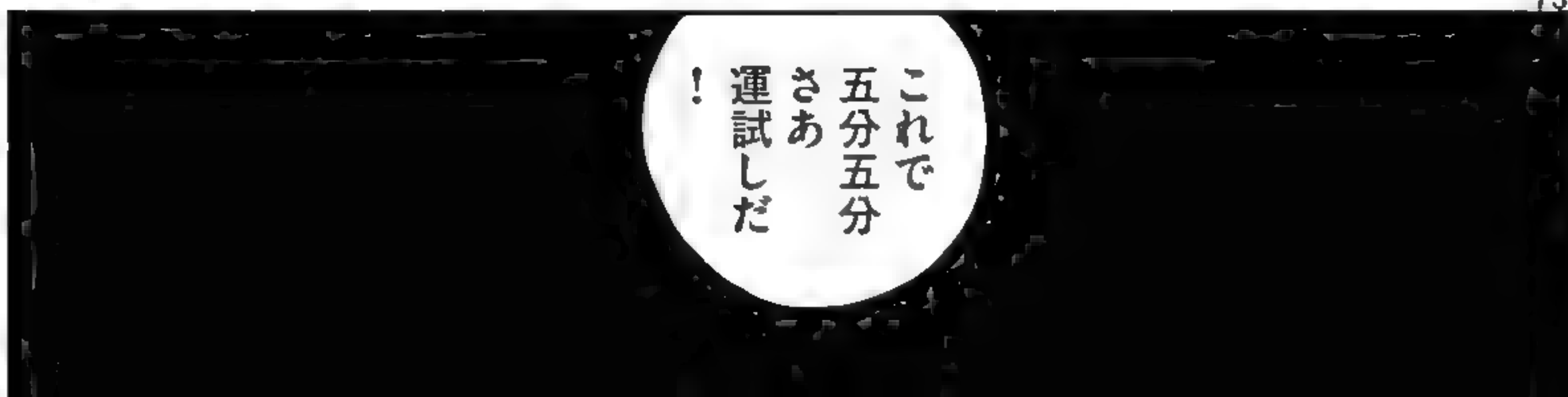
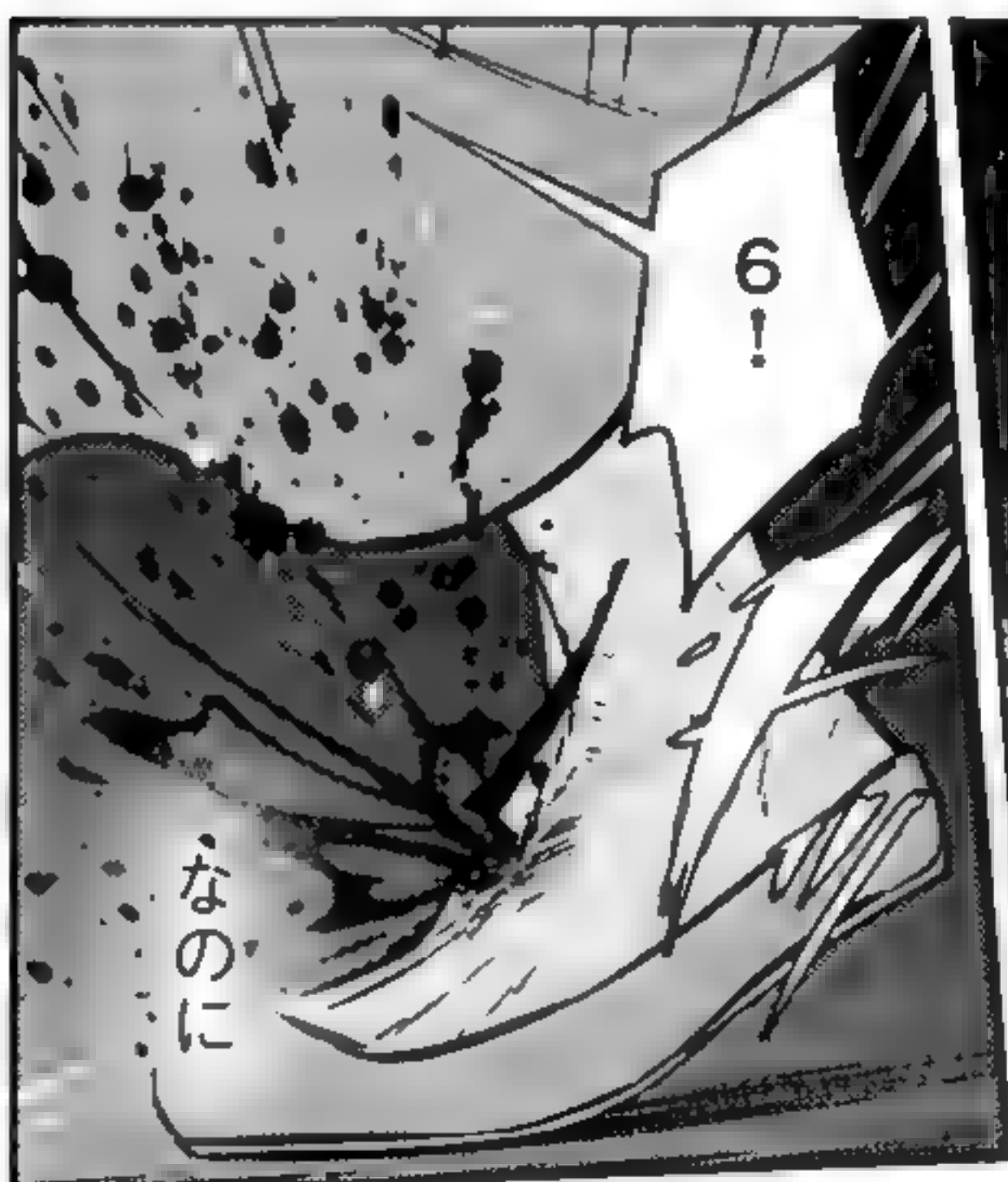
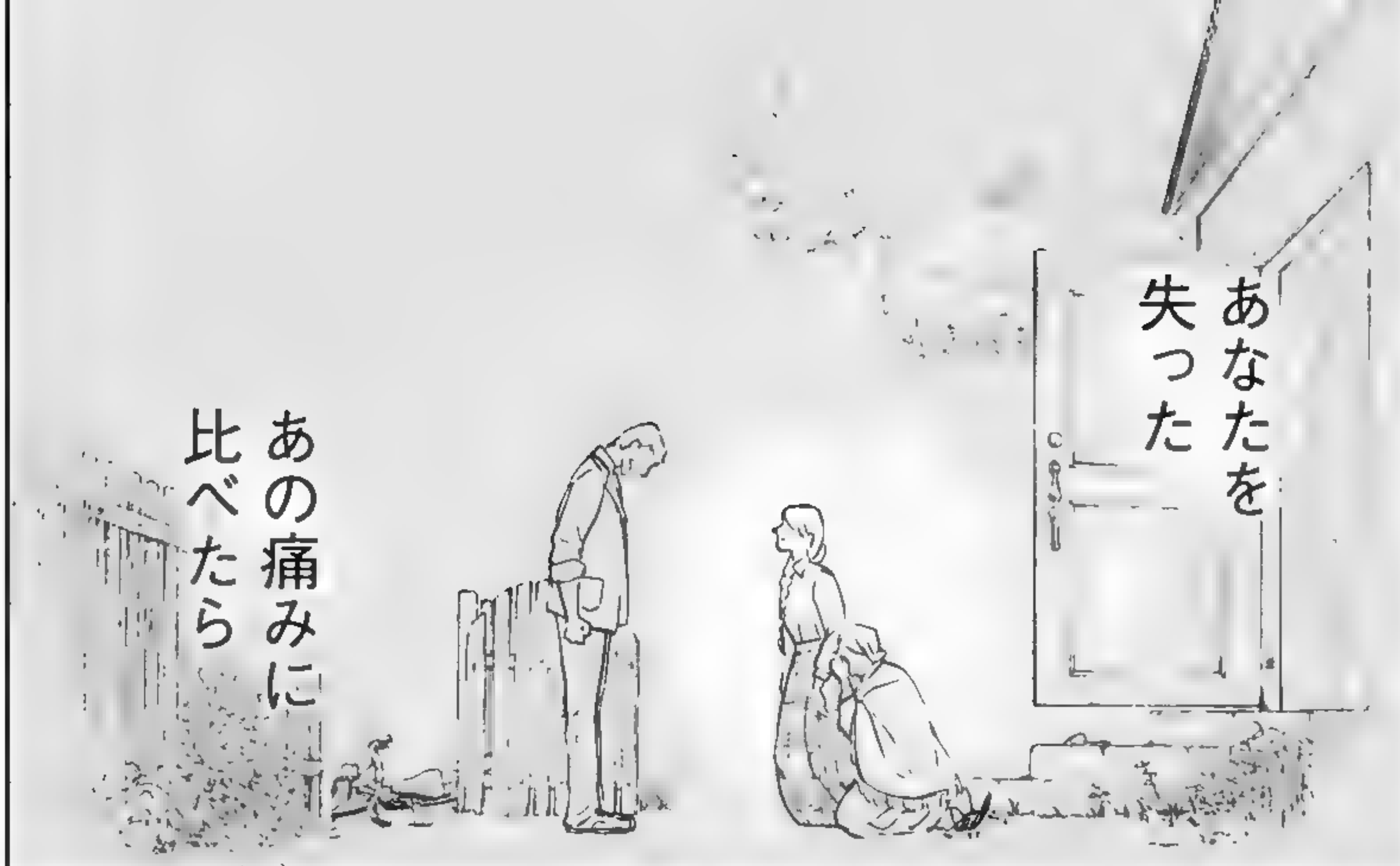
あなたを
失った
あの痛みに
比べたら

クソッ
当たって
ねえのか!?
6!
なのに

今
私は
自分から
そのあなたを
手放そうと
してるのね
7!

何なんだ このババア

化け物か……!?

※マズルフラッシュ…銃口から出る発火炎のこと

これで終わりだよ
銃を捨てな
なら撃てよ…
あんたには覚悟ってもんがないんだ
やっぱ甘えな聖人様はよ!!

パパーン
パタタッ
ごめんね　サーシャ
聖人？違うね
私はただの満足した婆ァだよ

そうか
フェーネチカ
やっと見れた
あんたの笑った顔
ああまた泣いて
だって
サーシャ…

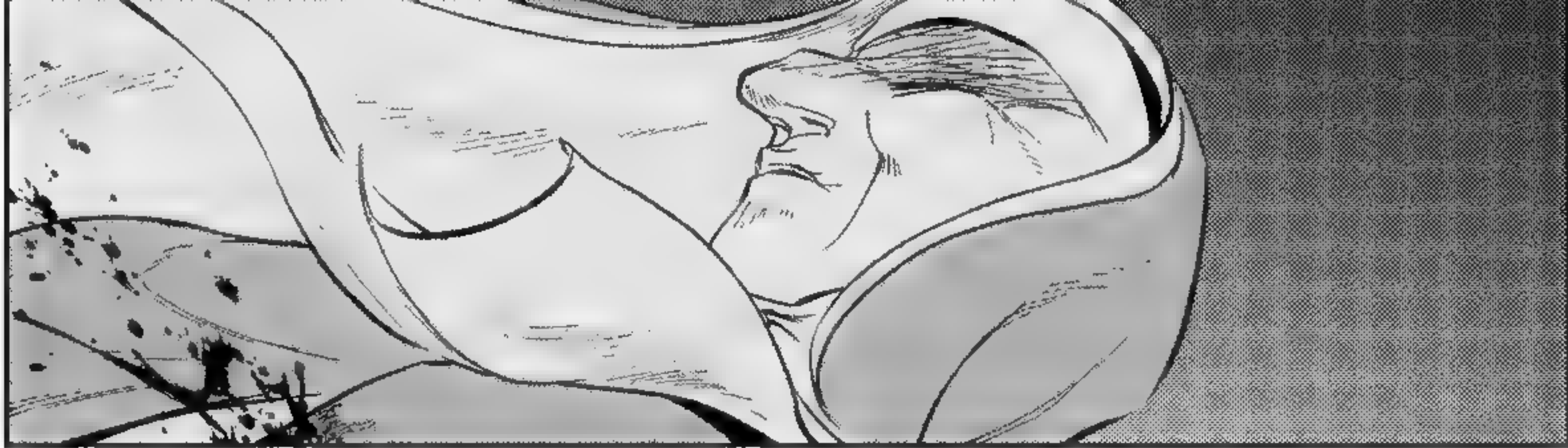
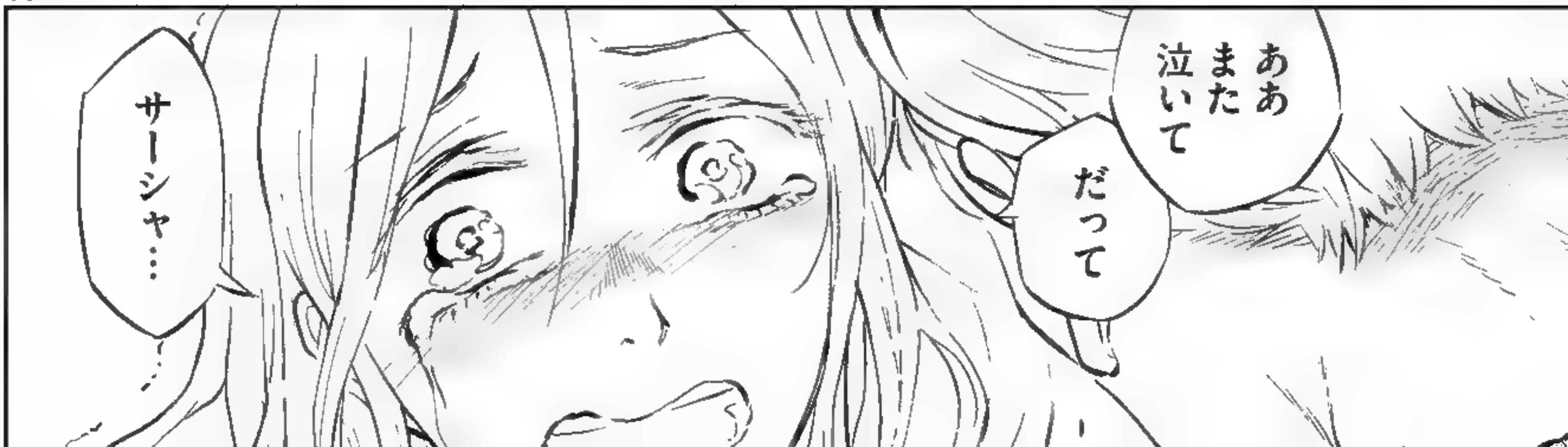
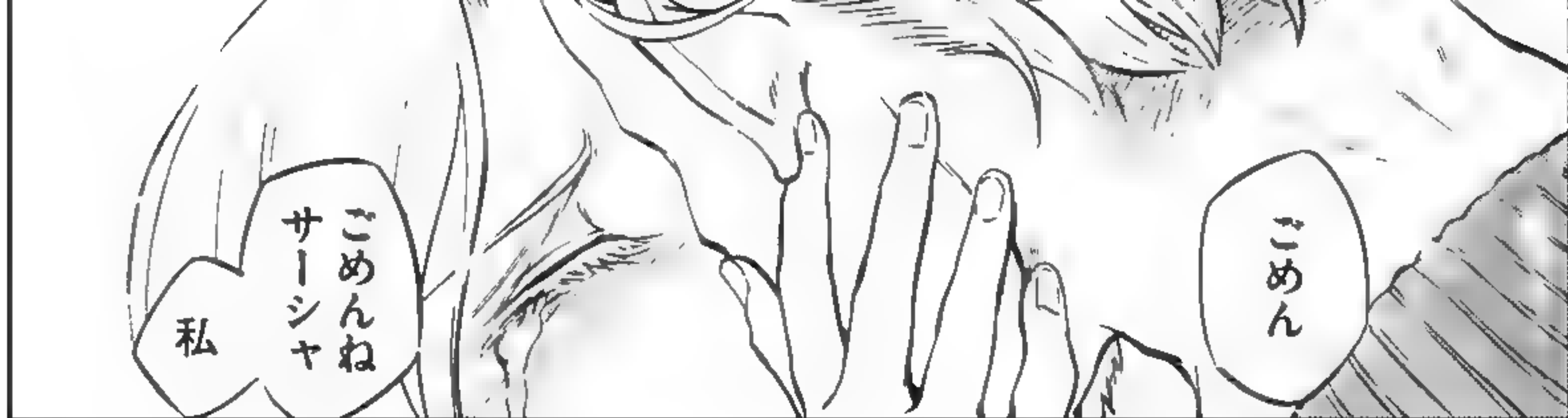
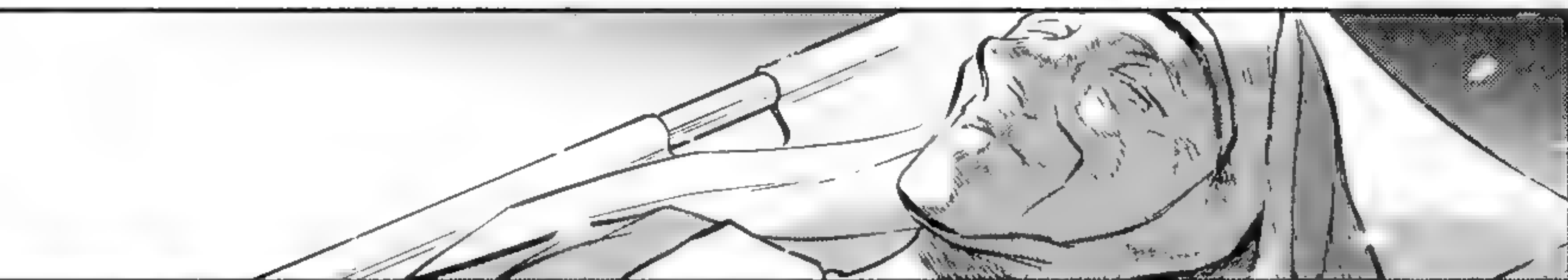
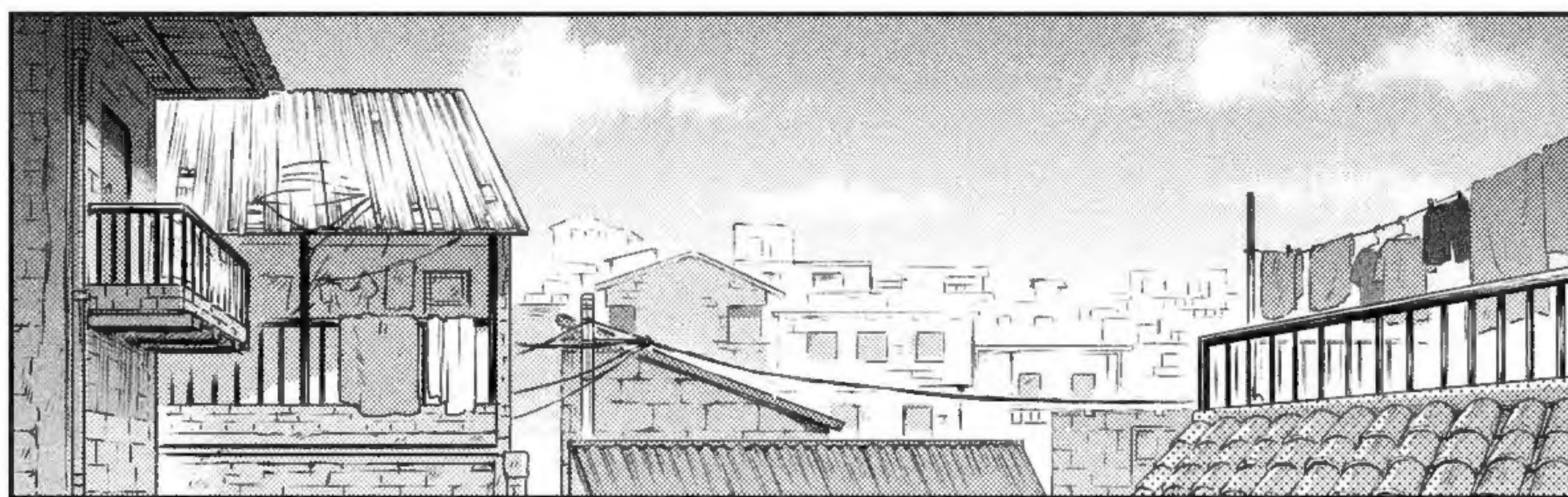
大地で
待つわ

チェルノブイリ原発
立ち入り禁止区域の現在

マザーを襲撃した青年達のバックに大物議員の支援…
これは載せないわけにはいかんな
いいのか?
また撃たれるぞ

逃げ回ってみせますよ

マザーの列聖審査中止になったらしいな
まあ…人を撃っちまったからな……

でも俺に言わせりゃふざけてるよ
だって

LAS ESTIGMAS DE MADRE DOROTHEA
UN MIRAGRO O UNA COINCIDE
左脇腹と両手両足を撃ち抜かれた上に
額には血の冠まであったっていうじゃないか
全て主イエスが磔になった時の傷と同じ箇所…
聖痕だ

これが奇跡でなくて何だってんだ
そうだよ
バチカンが認めなくたってマザー・ドロテアは

この国の聖人さ

もう一働き（ひとはたら）きしようかね!

閉ざした過去が溶け出して、二人は同じ夕焼けの中に。

不朽のフェーネチカ おわり

作品へのご感想をお待ちしています!